

# 平成30年 北海道胆振東部地震の記録



(町営富川球場)



(ミドリ川)

— 日 高 町 —

平成31年3月作成

## 平成30年北海道胆振東部地震(日高町) 目 次

1. 日高町における「平成30年北海道胆振東部地震」の概要について・・・	2
2. 地震分布図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3. 被害状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4. 時系列・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5. 災害対策本部総括・・・・・・・・・・・・・・・・	9
6. 各課総括及び対応事項・・・・・・・・	16
7. 自主防災組織総括・・・・・・・・	25
8. 他機関支援状況・・・・・・・・	28
9. 被災者支援制度一覧・・・・・・・・	30
10. 地震に係る防災無線放送履歴・・・・・・・・	31
12. 避難者人数推移・・・・・・・・	32
13. 水道復旧状況・・・・・・・・	33
14. 地域別停電復旧時間・・・・・・・・	34
15. 給水及び入浴支援活動状況・・・・・・・・	35
16. むかわ町民 とねっこの湯無料入館数一覧・・・・・・・・	36
17. ライフライン復旧見込み(9/7全戸配付資料)・・・・・・・・	37
18. 災害ゴミ集積場(9/9全戸配付資料)・・・・・・・・	38
19. 災害廃棄物フロー・・・・・・・・	39
20. 新聞報道・・・・・・・・	40

## 日高町における「平成30年北海道胆振東部地震」の概要

北海道胆振東部地震は、2018年9月6日午前3時7分59秒に北海道胆振地方中東部を震源とした地震である。地震の規模はM6.7、震源の深さは37km、最大震度は7で北海道では初めて観測された。

日高町では門別で震度6弱が観測され、このほかにも防災科学技術研究所の推定震度分布図では局地的に震度6強を観測したと推定されている。ただし、気象庁の震度発表対象ではないため、観測点の震度には反映されていない。

ライフラインの影響も大きかった。震源が近かった北海道電力苫東厚真火力発電所が緊急停止した影響により、道内全ての発電所が緊急停止し、道内約295万戸で停電が発生した。道内の全域で停電する「ブラックアウト」は1951年の北海道電力創業以来初めてで、日本国内でも電力供給区域のほぼ全域で電力が止まるのは初の事案となった。大規模停電の影響は、日高地区では4時間後に復旧したものの、富川・門別地区では翌日の午前まで、町内の全面復旧は9日までと3日間の長きにわたった。長時間の停電が続くなか、交差点の信号が広範囲に渡り消灯した状態が続いたため、バス路線はほぼ全路線で運休となったほか、物流も停止し、小売りスーパーなどで商品不足が相次ぎ、ガソリンスタンドでは給油待ちの長い車列ができ、給油制限が設けられた。家屋被害については、富川地区を中心に全壊3世帯・半壊58世帯、一部損壊446世帯となった。負傷者については軽傷者36名であった。避難勧告等については、富川・門別地区における土砂災害危険箇所の地域913世帯1947人に行った。

特に町営富川球場及び周辺に大きな亀裂が入り土砂災害の危険が高まったため、直下の富川南2丁目の一部66世帯119名に避難指示を行い、2度にわたる応急工事により球場の照明灯支柱や盛り土を撤去し加重を軽減させた後、避難指示の解除を行った。また、平賀の沖田の沢についても被害が大きく、大型土嚢750個設置による対応も行った。

避難者については、発災日6日21時現在で298名が6箇所の避難所に避難し、避難者数が最も多かった日は8日の313名であり、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）等で再度地震が発生するなどのデマの流言により避難者する人が多数いた。その後、避難者数は徐々に減るものの19日までの14日間におよび、延べ人数は1207人となった。その大きな要因については断水によるものであり、発災当初より門別地区605世帯は5日間、富川西・駒丘地区925世帯は11日間断水となった。このため、自衛隊に災害派遣要請を行い14日間にわたり、延べ7677名397 tの給水活動が行われた。入浴支援については主に陸上自衛隊第5旅団による「熊の湯」が10日間で2310名、とねっこの湯が3日間で1456名の支援を行った。また、新光町生活館に臨時洗濯場を設置した。

災害ゴミについては、当初町内10箇所を設置したが、5日後には富川東防災広場1箇所に集約をした。受入れ体制の問題により、他町からの持ち込みや災害ゴミ以外のものと見受けられるものが大量にあり課題を残した。

消防における地震時の対応については、自衛隊の給水活動の後方支援が主な業務となり、警察については「ブラックアウト」時における交差点の交通整理が主なものとなった。

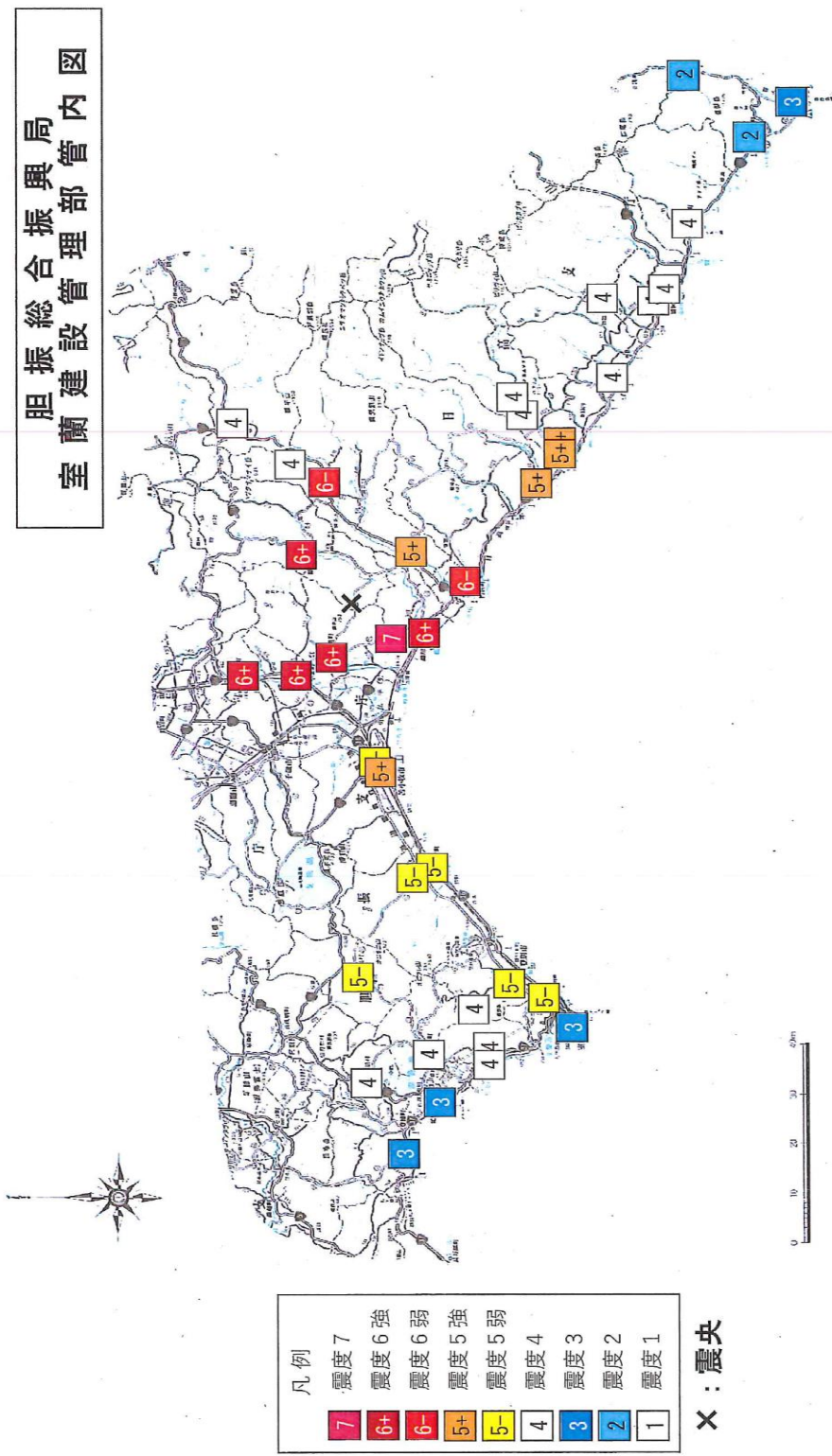
今回の地震は、災害救助法及び被災者生活再建支援法の適用になったことから、町独自の支援に加えて半壊以上の世帯には様々な支援が行われたほか、義援金において一部損壊の世帯についても支援を行った。



(富浜漁港)

# 震度分布図

2018年9月6日 北海道胆振東部地震



# 被害状況

(平成31年2月18日現在)

り災世帯 507世帯

り災人数 1,286人

被害総額

24億3,574万1千円

## 住家被害

項目	件数等	被害金額 (千円)
全壊	棟	△
	世帯	
	人	
半壊	棟	△
	世帯	
	人	
一部損壊	棟	△
	世帯	
	人	
計	棟	△
	世帯	
	人	

## 人的被害

項目	件数等	被害金額 (千円)
死者	0人	△
行方不明	0人	
重傷	0人	
軽症	36人	

## 農業被害

項目	件数等	被害金額 (千円)
農地畑	採草放牧地	0.3ha
	畑	0.2ha
農作物	施設	18箇所
	施設	100箇所
営農	施設	1箇所
畜産	被	183ト
畜産	物	14箇所
地割	れ	2箇所
その他	他	△
計		114,121



(町道平賀3号線)

## 土木被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
河川	箇所	10	542,300
道路	箇所	134	236,350
下水道	箇所	8	294,000
計		152	1,072,650

## 林業被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
一般民有林	林地	4	695,000
	治山施設	-	
	林道	-	
	林産物	-	
その他	箇所	-	
計		4	695,000

## 商工被害

項目	件	件数等	被害金額 (千円)
商業	49件	49	66,107
工業	件	-	-
その他	件	-	-
計		49	66,107

## 公立文教施設被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
小学校	箇所	3	18,876
中学校	箇所	3	12,041
高校	箇所	-	-
その他の文教施設	箇所	-	-
計		6	30,917

## 社会福祉施設等被害

項目	件	件数等	被害金額 (千円)
公立	1件	1	1,944
計		1	1,944

## 水産被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
漁港施設	箇所	11	29,744
共同利用施設	箇所	-	-
その他施設	箇所	-	-
その他	件	-	-
計		11	29,744

## 衛生被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
水道	箇所	3	32,632
	公立	1	3,801
病院	箇所	-	-
清掃施設	箇所	-	-
	一般廃棄物処理	-	-
	し尿処理	-	-
火葬場	箇所	-	-
計		4	36,433

## 社会教育施設被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
社会教育施設	箇所	10	32,850
	(富川青少年会館他)		
計		10	32,850

## その他の被害

項目	箇所	件数等	被害金額 (千円)
水道	戸	1,530	-
電話	回線	-	-
電気	戸	6,384	-
ガス	戸	-	-
墓地	箇所	-	-
富川球場	箇所	1	300,000
公営住宅	団地	9	15,238
厚賀会館	箇所	1	14,990
その他の公共施設	箇所	17	25,727
計		-	355,975

平成30年 北海道胆振東部地震時系列

月 日	時間	災害対策本部	行政動静
1日目	H30.9.6	<p>3:07 地震発生(マグニチュード6.7) (日高町当初発表震度5弱以上、のちに震度6弱)</p> <p>町内全域停電、断水</p> <p>3:15 対策本部設置</p> <p>3:55 富川東防災広場解放</p> <p>避難所設置(富川生活館、門別総合市民センター、厚賀会館、厚賀コミセン、水くらしサービスセンター計5箇所)</p> <p>4:00 自衛隊派遣要請(給水) 災害対策本部会議</p> <p>7:00 災害対策本部会議(2回目)</p> <p>7:13 日高地区停電復旧</p> <p>11:10 役場庁舎一般電話復旧(無停電対応機)</p> <p>11:45 役場庁舎道防災電話復旧</p> <p>町内断水箇所(調査後情報) 門別本町・緑町605戸 富川西・富川駒丘925戸 富川北5丁目の一部</p> <p>自衛隊派遣要請(給水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内全地区小中学校、富川高校休校、ひばり幼稚園休み、3保育所休み</li> <li>・門別図書館休館</li> <li>・ホッカイドウ競馬全レース中止</li> <li>・とねっこの湯営業休止(当面)、バス運行休止</li> <li>・水道被災箇所 配水管5箇所(門別2箇所、富川3箇所)管破裂 富川第2浄水場</li> <li>・証明発行等窓口業務停止(発行不可) ※地震直後よりNTT設備故障のための庁内ネットワーク(ビジネスユーザー本庁⇄支所) 停電で使用不可</li> </ul>
2日目	H30.9.7	<p>6:00 自衛隊給水 富川自動車学校4台、役場前3台</p> <p>富川市街地停電復旧</p> <p>12:10 役場(門別本町)停電復旧</p> <p>15:30 避難勧告 平賀、富川北4丁目、富川北5丁目、富川南6丁目、富川南2丁目の一部、富川東5丁目の一部、緑町の一部、豊郷、庫富、広富 913世帯、1,947人</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門別地区小中学校、富川高校休校、ひばり幼稚園休み</li> <li>・3保育所休み</li> <li>・証明発行等窓口業務停止(発行不可) ※地震直後よりNTT設備故障のための庁内ネットワーク(ビジネスユーザー本庁⇄支所) 停電で使用不可</li> <li>・庁内インターネット(セキュリティークラウド)、LGWANも接続不可</li> <li>・自衛隊派遣要請(臨時風呂)</li> </ul>
3日目	H30.9.8	<p>8:00 新潟市民病院医療応援</p> <p>15:25 日高地区一般電話復旧</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会中止(門別地区)</li> <li>・庁内サーバー機器起動確認(NTT回線故障により、ネットワークの一部(本庁⇄支所)及びセキュリティークラウドは不通)</li> </ul>
4日目	H30.9.9	<p>8:00 町内停電全面復旧(一部個別的な部分を除く)</p> <p>8:30 災害ごみ集積場設置(町内10箇所)</p> <p>11:30 避難指示 富川南2丁目の一部66世帯119人(富川球場に亀裂を確認。雨により地すべりの想定による。)</p> <p>13:00 自衛隊臨時風呂開設(富川西地区優先)~20:00</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日高道 鶴川IC~厚賀IC 通行止め解除</li> <li>・ドコモ移動基地局設置</li> <li>・役場水道復旧</li> </ul>
5日目	H30.9.10	<p>6:00 門別本町、緑町水道復旧(富川西、富川駒丘は断水)</p> <p>6:00 自衛隊給水 富川自動車学校、役場前、総合市民センター(~20:00)場所追加</p> <p>10:00 避難所一部閉鎖(豊郷生活館、庫富生活館、富川生活館、門別公民館)</p> <p>13:00 自衛隊臨時風呂開設(門別本町、緑町優先)~21:30</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門小、富中臨時休校</li> <li>・富小、門中、厚小、厚中午前授業</li> <li>・富高臨時休校</li> <li>・臨時お風呂開設ちらし配布(緑町・門別本町)</li> <li>・富川診療所 6日(木)4人、7日(金)4人、10日(月)1人</li> <li>・JA門別 豚汁炊き出し</li> </ul>

月 日		時間	災害対策本部	行政動静
6日目	H30.9.11		<p>罹災証明発行開始 9/11～10/5 8:30～17:15(9/15～9/17臨時開設) 球場亀裂部分計測器設置</p> <p>10:00 避難勧告解除(富川北4丁目、富川北5丁目、富川東5丁目の一部、緑町の一部、豊郷、庫富、広富) 避難勧告継続中(平賀17世帯61人・富川南6丁目の一部33世帯151人) 避難指示継続中(富川南2丁目66世帯119人)</p> <p>平賀生活館の避難所は水・くらしサービスセンターに統合</p> <p>給水場所 12:00役場前終了し、富川西セブンイレブンに設置</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富中臨時休校</li> <li>・富小、富小、門中、厚小、厚中午前授業</li> <li>・3保育所預かりのみ</li> <li>・自衛隊給水 富川自動車学校、役場前</li> <li>・ホッカイドウ競馬中止～13日</li> <li>・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30</li> <li>・避難指示継続地域(富川南2丁目の一部)に説明チラシ配布</li> <li>・庁舎内ネットワーク復旧(動作確認)(NTT回線の復旧)防災メール配信の再開</li> </ul>
7日目	H30.9.12		<p>災害ごみ集積場 富川東防災広場以外の9箇所は17:00で終了。</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・門小午前授業</li> <li>・富小、富中、門小、門中、厚小、厚中通常授業</li> <li>・富高午前授業～13日</li> <li>・3保育所預かりのみ</li> <li>・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30</li> <li>・町長、副町長避難所視察</li> </ul>
8日目	H30.9.13		<p>災害ごみ集積場 富川東防災広場のみで8:30から18:00まで受入。9/16まで</p> <p>給水は、富川自動車学校5台、セブンイレブン富川西店横1台、富川西地区住宅街(巡回)2台 自衛隊視察ヘリ</p> <p>防衛省入浴サービス(はくおう)が苫小牧西港で開始(17日まで)</p> <p>16:00 門別警察署 地震発生による「詐欺に注意」喚起を防災無線で放送(16時、17時) 避難指示(富川南2丁目の一部)地域住民へ状況説明(町長)</p> <p>災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富小、富中、門小、門中、厚小、厚中通常授業</li> <li>・富高午前授業～13日</li> <li>・3保育所預かりのみ</li> <li>・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30</li> </ul>
9日目	H30.9.14	15:00 16:00	<p>新光町生活館に洗濯機設置(4台)</p> <p>災害対策本部会議</p> <p>とねっこの湯試運転開始 対象は断水地区(富川西、駒丘)及び災害により入浴できない町民限定で無料入浴～20:00</p> <p>避難指示(富川南2丁目の一部)地域住民へ状況説明(町長)</p> <p>ドローン撮影(富川東防災広場・富川球場)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富小、富中、門小、門中、厚小、厚中通常授業</li> <li>・3保育所預かりのみ</li> <li>・富高午前授業～13日</li> <li>・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30</li> <li>・給水は、富川自動車学校5台、セブンイレブン富川西店横1台、富川西地区住宅街(巡回)2台</li> </ul>
10日目	H30.9.15	午前  14:00  16:00	<p>富川南2丁目避難指示地域へお知らせ配布 内容～球場に亀裂が入っていることから、避難指示発令中。 9/11～13に計測器を設置し状況を確認したところ動いていないことを確認。今後9/15～16でライトを撤去。9/17に避難指示を検討する。</p> <p>14:00 避難勧告一部解除 富川南6丁目16世帯60名、平賀地区(水田沢川地先を除く)33世帯157人 継続中は、避難指示 富川南2丁目の一部66世帯119人、避難勧告 平賀地区(水田沢川地先)1世帯1人</p> <p>避難指示(富川南2丁目の一部)地域住民へ状況説明(町長)</p> <p>16:00 災害対策本部会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボラ連(社協)が炊き出しを行い、富川自動車学校でおにぎり配付</li> <li>・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30</li> <li>・とねっこの湯試験運転(断水地域、被災住宅住民対象に無料入浴)～20:00</li> </ul>



月 日		時間	災害対策本部	行政動静
11日目	H30.9.16	14:00 16:00 23:00	避難指示、避難勧告全て解除 災害対策本部会議 富川東防災広場での災害ごみ受入終了 水道全域復旧	・とねっこの湯試験運転(断水地域、被災住宅住民対象に無料入浴)～20:00 ・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30
12日目	H30.9.17	16:00	災害対策本部会議 新光町生活館洗濯場最終日20:00 はくおう最終日	・とねっこの湯試験運転(断水地域、被災住宅住民対象に無料入浴)～20:00 ・自衛隊臨時風呂(富川東防災広場)～21:30 最終日
13日目	H30.9.18	16:00	対策本部会議	・ホッカイドウ競馬中止(9/18～9/20) ・とねっこの湯試験運転～20:00
14日目	H30.9.19	9:30 15:00 16:00 16:00 17:15	熊乃湯部隊見送り式(第5旅団第5後方支援) 避難所(水・くらしサービスセンター)を閉鎖 自衛隊給水終了 災害対策本部会議 消防給水(自衛隊から引継ぎ)を自動車学校前で実施～18:00 給水部隊見送り式(第7師団)	・とねっこの湯 通常時間営業で入浴無料 ・スポーツセンター再開 ・富川自動車学校・セブンイレブン富川西の給水時間を午前7時から午後6時に変更
15日目	H30.9.20	16:00	災害対策本部会議	・ドコモ充電器(5台)回収
16日目	H30.9.21	17:00	災害対策本部解散	

- 3 : 07 地震発生 情報確保 — 車のラジオで津波は無いと確認
- 3 : 15 災害対策本部設置  
懐中電灯配布—職場応急整理  
相当数の車両が東防災広場に自主避難  
町内全域停電・断水  
30分以内に職員84名が参集
- 3 : 55 避難所5箇所設置（富川生活館、門別総合町民センター、厚賀会館、厚賀コミュニティセンター、水・くらしサービスセンター）  
役場の電話不通  
携帯は電波が弱く、ソフトバンク・AUが全く使えず、ドコモも殆ど使えない  
消防の報告により救急要請も重大な事案は発生していない  
テレビ停止・情報収集が不可
- 4 : 00 本部会議の開催（各課情報収集）  
自衛隊に給水支援を要請
- 7 : 00 本部会議の開催（課題集約）
- 8 : 00 全戸被害調査
- 11 : 45 断水状況が判明、門別地区、富川西・駒丘、富川北の一部約1500世帯

ブラックアウト状態では、正確な情報の入手が困難であり津波が発生した場合、的確な避難誘導が行えたかどうか疑問である。（この反省に基づき、津波避難放送は24時間対応可能な消防に依頼することに変更した。）

被害調査班については、企画財政課に所管の依頼する。以降、最後まで各課動員をお願いする。情報入手方法はラジオしかない状況、日高振興局とも密接な連絡取れず。

北電が状況説明に来庁し、苫小牧方面からの復旧に1週間かかると報告がある。しかし夜の段階で浦河側から役場・病院を中心に徐々に復旧しているという情報がSNS等であった。水道の被害原因は調査中。



（地震発生直後の役場本庁舎）

## 災害対策本部② 9/7

- 6 : 00 自衛隊給水(千歳からの通いで対応)  
富川市街地停電復旧(消防近辺から徐々に回復)
- 12 : 10 役場本庁舎停電復旧
- 15 : 30 避難勧告 平賀、富川北4丁目、富川北5丁目、富川南6丁目、富川南2丁目の一部、  
富川東5丁目の一部、緑町の一部、豊郷、庫富、広富の913世帯・1947人  
自衛隊派遣要請(臨時風呂)
- 16 : 00 災害対策本部会議

電話が通じないので北電に1日1回出向いて状況確認する。  
他町では徐々に復旧しているようであるが、復旧の根拠が無いために全戸チラシには回復まで1週間としたまま北電からの当初の情報のまま配布を行った。

電気は昼に復旧するが一般電話は未回復である。  
停電復旧時に電算関係の作動確認。  
サーバー機器は問題なく起動(NTT回線に故障があったため、インターネット、LGWAN、道防災、庁内ネットワークが一部不通となっていた)

北海道の委託業者が土砂災害警戒区域の点検に入り、厚賀以外は地震の影響があると報告があったため、地震の影響がある地域に対し避難勧告を行う。  
今回は全町規模の災害により避難勧告について、自治会等に詳細な伝達をすることが出来なかった。避難勧告により平賀・庫富・豊郷に避難所を追加する。

自衛隊の臨時風呂要請は困難であった。振興局と自衛隊の中で要請が成立しない。  
結果的には胆振東部の被災地と日高町のどちらに優先順位をつけるか自衛隊の判断に時間を要したものであった。

## 災害対策本部③ 9/8

- 8 : 00 新潟市民病院医療応援
- 15 : 25 日高地区一般電話復旧
- 16 : 00 災害対策本部会議

SNS等で「数時間後に本震が起きる、海上保安庁や自衛隊が言っていた」との情報や「広報車が避難するように回っている」など不審な情報が出回る。振興局を通じ真偽の確認を行うが、そのような情報はない。自衛隊第7師団広報より問い合わせ窓口が設置される。

門別警察署に連絡し対応を要請する。このことにより、前日211名の避難者が313名に急増する。

町内では沿岸に近い市街地の電気は回復し始め、山間部は未回復の状況であるが明日には回復の予定。

#### 災害対策本部④ 9 / 9

- 8:00 町内停電全面復旧
- 8:30 災害ごみ集積場設置（町内10箇所）
- 11:30 避難指示、富川南2丁目の一部66世帯119人
- 13:00 自衛隊臨時風呂開設（富川西地区優先）
- 16:00 災害対策本部会議

災害ゴミ集積場のチラシを全戸配布、富川西地区に臨時風呂のチラシを配布する。

各災害ごみ集積所に分別の区画整理を行う。

集積場の設置箇所数については、10箇所とし固定の職員配置は行わずに巡回により管理を行う。

前日までに被害調査が終了し、公共施設の被害状況の確認に入る。その中で富川町営球場周辺の地割れが大きいことが確認される。門別警察署より球場直下の富川南2丁目一部の避難について協議を行い、避難勧告を**避難指示**に変更する。

避難指示区域住民に対し、警察と役場で戸別訪問をおこない避難を促す。

自衛隊による臨時風呂対応については、折衝から全てを企画財政課に対応するよう指示。利用者対策として、富川西地区に臨時バスを二台運行するが利用者は1名であり、ほとんどがマイカー利用者であった。（停留場所はセブンイレブン・富川シティーホテル前）

自衛隊臨時風呂の部隊について、寝泊まりする公共施設の要望があったため新光町生活館を解放する。

#### 災害対策本部⑤ 9 / 10

- 6:00 門別本町、緑町水道復旧
  - 自衛隊給水 富川自動車学校、役場前、総合町民センター（～20:00）場所追加
- 10:00 避難所一部閉鎖（豊郷生活館、庫富生活館、富川生活館、門別公民館）
- 13:00 自衛隊臨時風呂開設（門別本町・緑町地区優先）
- 16:00 災害対策本部会議

門別本町・緑町地区に自衛隊臨時風呂開設及び臨時バス運行のチラシを配布するがバス利用者は1名であった。（利用者が少ないので臨時バスは本日をもって取りやめとする）

断水区域は、富川西・駒丘地区のみとなる。

前日の避難所の利用状況や天候を鑑みて避難所の集約を行う。

## 災害対策本部⑥ 9 / 11

- 8:30 罹災証明受付開始  
富川球場伸縮計設置
- 10:00 避難勧告一部解除（富川北4丁目、富川北5丁目、富川東5丁目の一部、緑町の一部、  
豊郷、庫富、広富）  
平賀避難所閉鎖（水・くらしサービスセンターに統合）
- 16:00 災害対策本部会議

2階中会議室で罹災・被災証明書の受付を開始する。

富川球場の被害進行状況を把握するため、伸縮計を設置する。（亀裂が広がっていないかどうか様子を見るため）

避難所は総合町民センターと水・くらしサービスセンター2箇所を集約する。

災害ごみの集積状況が悪く10箇所の対応が不可能なため、富川東防災広場に集約することを意思決定する。

庁内ネットワークの復旧（NTT回線の復旧）

## 災害対策本部⑦ 9 / 13

- 16:00 避難指示地域住民への状況説明（於 水・くらしサービスセンター）  
災害対策本部会議

水・くらしサービスセンター避難所において、11日に球場上部に伸縮計を設置したこと及び地質業者に調査を依頼していることを説明する。

洗濯場設置について、①民間コインランドリーの借り上げ、②生活館に設置の2案で検討をしたが、②案で決定し日高西部防災マスター協議会に新光町生活館に設置依頼をする。洗濯機は町内業者及び役場備品の計四台とした。



（水・くらしサービスセンター）

## 災害対策本部⑧ 9 / 14

15:00 新光町生活館に臨時洗濯機設置

17:00 避難指示地域住民への状況説明（町長）二回目（於 水・くらしサービスセンター）

16:00 災害対策本部会議

富川西地区のための臨時洗濯場だが、断水のため新光町生活館に設置する。

テント屋根による野外設置とした。（給排水工事一部あり）

周知方法は、町内会にチラシ配布をお願いした。また、新光町生活館で宿泊していた臨時風呂対応の自衛隊は門別公民館に宿舎を変更した。

球場ライト撤去業者が見つかり、14日昼から工事に着手可能になる。

このことにより、連日になるが富川南2丁目住民の説明会を水・くらしサービスセンターに於いて開催する。

球場の上部盛り土部分が地震により緩んで亀裂が入っている状況を説明する。また、11日から14日までの伸縮計の結果説明（亀裂は大きくなっていない事）。その上で、球場の荷重軽減の応急工事を14日昼から16日まで行う事を説明する。工事終了後17日に、避難指示が解除可能かどうかの判断を行い、再度住民説明会の開催を伝える。

## 災害対策本部⑨ 9 / 15

9:00 富川南2丁目の避難指示地域へお知らせ配布（職員配布）

14:00 避難勧告の一部解除（富川南6丁目、平賀地区の一部）

16:00 災害対策本部会議

17:00 避難指示地域住民への状況説明（町長）三回目（於 水・くらしサービスセンター）

避難勧告の解除については、富川球場の斜面下の世帯及び水田の沢地先（平賀）の1世帯を除いては、解除しても問題ないと判断する。地割れの大きい水田の沢地区は土砂災害警戒箇所ため、今後の対応を検討する。

当初の予定では、16日夕方までの工事予定が15日で完了する見込みとなった事から、三回目の説明会を行う。照明灯支柱の約90tを除去し、荷重軽減したことにより応急工事が完了したことを説明し、1日様子を見て16日避難指示の解除を判断する。



（富川東防災広場のゴミ堆積場の様子）

災害対策本部⑩ 9/16

- 14:00 避難指示、避難勧告全て解除
- 16:00 災害対策本部会議
- 18:00 富川東防災広場での災害ゴミ受入れ終了
- 23:00 水道全面復旧

球場下の避難指示区域については応急工事の完了に伴い、**避難指示**を解除とする。  
また、水田の沢地区についても今後、早急に大型土嚢の設置を行うことを地権者と協議し了解を得る。これにより**避難勧告**を解除する。

災害ゴミの受入れについては、町外からの持ち込みが非常に多い事、また地震以外のゴミの量も相当な割合であるのではと思われる。これについては、持ち込む人のモラルの問題もあるが、免許証等の提示など受入れ方にも課題があることが顕在化した。

水道が全面復旧して、ライフラインが全て回復する。

災害対策本部⑪ 9/17

- 10:00 総合町民センター避難所閉鎖
- 16:00 災害対策本部会議
- 20:00 新光町生活館洗濯場閉鎖

ライフラインが復旧し、総合町民センター避難所を閉鎖する。  
水・くらしサービスセンターについては避難者が7名いるため継続する。  
避難者の生活状況を調査する。  
自衛隊の給水支援については当面継続し、入浴支援は本日で終了する。

災害対策本部⑫ 9/18

- 16:00 災害対策本部会議

避難者が5名になる。自宅に灯油がこぼれて帰宅できなかった方の対応が完了したため、精神的に不安による避難者に対し、翌日の避難所閉鎖の説明を行う。

The whiteboard contains the following information:

**411 避難所**

避難者数: 76 (うち 54人)

避難所	人数	備考
総合町民センター	7	7 (うち 7人)
水・くらしサービスセンター	9	19 (うち 9人)
新光町生活館	2	2 (うち 2人)
その他	58	58 (うち 54人)

※新光町生活館 自主避難者 5人 (59.20人)

(災害対策本部の避難者情報)

## 災害対策本部⑬ 9/19

9:30 熊の湯部隊見送式

15:00 避難所（水・くらしサービスセンター）閉鎖

16:00 自衛隊給水終了

消防給水（自衛隊から引き継ぎ）を自動車学校前で実施 ～18:00

17:15 給水部隊見送式

水道復旧後、濁り水が無くなるまで給水支援をしていた自衛隊が、需要が無くなったことにより支援を終了する。

また、最後の避難所である水・くらしサービスセンターも避難者が居なくなった事により閉鎖とする。

## 災害対策本部⑭ 9/21

17:00 災害対策本部解散

罹災証明書の発行や災害ゴミの処理業務など、復興にあたる業務は今後も継続することになるが、避難勧告等や避難者がいなくなった事により災害対策本部は17:00をもって解散とする。

（陸上自衛隊による入浴支援「熊の湯」）



【陸上自衛隊第5旅団第5後方支援隊】



## 住民課総括

- ・避難所5箇所設置は順調に進んだが職員配置選任について苦慮した。
  - ・防災倉庫内の資材・食糧備蓄数を把握していなかったため初動時の具体的な指示が出来なかった。今後は資材・食糧の備蓄状況は把握し初動に備えたい。また、避難所開設訓練等を行うことで少数で速やかな開設が可能。
  - ・防災倉庫における発電機器の保守点検や備蓄燃料等の管理等、通常業務で運行する公用車等管理・燃料の扱いと関連付けることにより、資材状況に精通した職員を増やし避難所開設時の資材運搬を迅速に行うことができる。
  - ・災害状況の全体像把握による避難の状況が見えず、長期にわたる食料調達計画策定等の決断が遅れた。
  - ・食料調達は予め仕出し等可能な店舗と災害協定等を事前に締結し、価格やメニュー・運搬方法を確認しておく必要がある。生活必需品を含め他の物資も同様。
  - ・広報車の運行については、災害における業務の優先順位により運行が不可能であった。しかしながら災害時の情報提供は重要であるためセットカーとは別に、簡易装備可能な車載スピーカーセット等を用意し複数車両の広報体制が必要である。
  - ・災害時の廃棄物処理について、当初、2箇所24時間管理を計画し厳密な運営を実施することにより最小限の災害ゴミ対応を計画。また、平取町外2町衛生施設組合担当者の助言もあり、収集回数等の調整により一般家庭ゴミが混入することを防止する計画で検討したところであるが、高齢者の利便性を優先し、実施にあつては10箇所無人で開設し、最終的には1箇所に集約した。
  - ・食中毒の予防に関しては、高温期を過ぎていたため特に問題は無かったが、避難所等の食料保管に留意した。特に、調理直後の温度(高温)のまま箱詰めになっていたものに留意した。
  - ・パン等は消費期限に留意し配布計画を立てるとともに、幼児や高齢者に対して持参する食料は、車内の温度で傷まないものを指導した。製造日・消費期限・保管方法を表示するなどの配慮が必要。また、夏期災害時における保管方法の検討が必要。
- 避難所における公衆衛生及び健康管理については、対応が全く出来なかったが、健康増進課の対応により大事には至らなかった。公衆衛生面における断水地区浴場対策は、とねっこの湯試験運転開始により迅速な対応をしたが、自衛隊浴場支援との連携が密に出来なかった。

## 企画財政課総括

- ・補正対応、地方債(単独災害)の取りまとめについて、初めての地震被害対応であり、各課の被害状況に対し、起債対象になるかの判断が難しかった。
- ・報道機関対応は、災害対策本部が行った。
- ・災害記録について、被災当日及び翌日は被害調査に全職員が対応したため、被災写真等

を専任で撮影することが出来なく被災状況や各支援状況の記録が十分に残せなかったと感じる。

- ・HPでは被災状況や各支援等の随時更新、広報誌の作成を行った。
- ・被災当日は、停電により災害用HPの立ち上げが遅れた。また、HPへの情報掲載のため災害対策本部や各課との情報共有が必要。
- ・その他対応として、被災当日からの被害調査準備、班編制及び集計を行った。
- ・被害調査区域等の設定・調査班編成が白紙の状態から始めたので、次回以降活用できる図面等の整備・保存が必要。全戸調査していく中で、不在時には最低2回訪問したが最終的に会えなかった方への連絡票（不在であった旨及び被害があった際の連絡先）が必要であったと感じた。
- ・自衛隊臨時風呂設置の対応全般を担い、運営調整・バス運行計画・周知チラシの作成や従事者調整を行った。

## 子育て福祉課総括

- ・災害救助法の適用申請全般を担当。（事務については課を横断し保険年金課とグループを編成。被災時における振興局（北海道災害対策本部）からの通知は停電・電話不通の影響で、全て届いておらず災害救助法の適用認識をしたのは被災から1週間後であった。）被災直後に苫小牧社協が来庁し、ボランティアの必要性を調査。町社協はニーズ調査を行い、家屋内の清掃など対応出来ることを直営で行い、ボランティアセンターの設置には至らなかった。
- ・被災者の生活援護に関し、災害見舞金を始め各種支援制度の周知や取りまとめを行った。とみかわ児童館及び、とみかわ老人憩いの家の応急復旧を行った。
- ・防災計画上の福祉班業務は、多部署で担うことになっており役割分担が曖昧である。
- ・災害救助業務は町全体で対応するが、災害復興業務は担当する課（グループ）の負担が大きく、通常行う業務と平行作業となるため、災害の規模によって災害対策室などの部署の立ち上げなどを検討する必要がある。

## 建設課総括

- ・建設土木班の所属部員がもともと少ないことや、地震発生直後に対策本部にかけつけることの出来た職員が4名であったので、土木・農業施設の担当職員2名により4時頃から管理する施設の被害状況調査に出動した。また、町道維持管理業務委託業者並びに土木施設管理台帳作成業務を委託するコンサルへも被害状況調査の応援を要請した。
- ・所属部員が不足する人員を補うために、委託業者やコンサルの臨時的な支援体制が大雨災害時の経験により、慌てず迅速に対応できた。大きな被害の範囲が富川・平賀地区に限定されていたことも幸いした。

- ・道路や河川の土砂除去、道路の倒木の処理については少し手間取ったが、町内建設業者の応援により時間がかかったところもあるが、対応することは出来た。

- ・応急復旧作業に必要な資材の確保並びに作業従事者の雇上げに関しては、早急に復旧の必要な箇所が、道路3箇所、河川1箇所と比較的少なかったこともあり、町内建設業者複数に応援を募り、即時に現場立会、応急作業の説明、随契により速やかに応急復旧作業を開始することが出来た。

#### ①町営富川球場（都市公園施設の災害）

被災の結果、地すべりの危険性が高いと判断され、教育委員会の要請を受けて技術支援による照明施設2基撤去（大型クレーンを手配）、フェンスの一部撤去、法面盛土除去などの応急工事の発注、災害査定の支援など協力を行った。

#### ②沖田の沢（平賀）

沢を形成する森林の稜線伝いに多数の大小の亀裂が生じ、近隣の住宅1軒が土砂崩れによる被災の可能性が高いため、災害対策本部の要請により、急遽北海道開発局へ資材提供を要請し、大型土嚢750個を配置し、2次災害の防止に努めるよう協力を行った。

#### ③災害ごみ

災害ごみの集積場集約に伴う作業への地元建設業者の協力要請については、当初10箇所の集積場を「富川東防災広場」1箇所に集約し、作業の効率化を図るため、地元建設業者へ建設課より協力要請し、4日間、10業者により多くの重機や作業員を動員、集積場集約のための災害ごみの運搬等、多大な協力によりその後の円滑なごみ処理に繋がった。

#### ④町道の交通規制及び緊急輸送路の確保

町道の交通規制及び緊急輸送路の確保に関しては、管理部門2名の職員により町道維持管理業務委託業者への連絡体制に基づき、被害状況調査に出動した職員からの情報や地域住民からの情報提供により随時適切に判断、対応出来た。

### 管財建築課総括

- ・被災直後から町営住宅各団地・住棟毎の被害調査を実施。電気切断・漏水・油漏れ等の緊急を要する修繕を各業者に依頼したが、民間住宅等の被害も大きかったため、次第に業者の手が回らなくなり、完了までに時間を要することとなった。

- ・住宅被災者への住宅確保については被災者の町営住宅への入居希望を受け付け、特定入居者の選考を数次に亘って実施し、不足分は旧教員住宅を町管理に変更して貸付けしたが、概ね入居希望に添うことができ、応急仮設住宅（借上型）は町内3戸（内町外からの入居1戸）、町外1戸のみとなった。

- ・被災住宅の応急修理については、半壊以上の住宅へ通知を行い、建築業者への説明と協力依頼を行い13件実施された。このほか大規模半壊以上の住宅被災者に対し、生活再建支援法の説明を行った。

- ・公共施設の被害については、本庁舎、厚賀会館及び厚賀コミュニティーセンターの被害

状況の確認を行い、天井が剥離した厚賀会館の多目的集会ホールを閉鎖した。また、公共施設（建物）全体について、設計業者の協力を得て被害状況の確認を行った。



（門別図書館）

### 農務課総括

- ・各農協と町内全域の農業被害調査（9/10～9/12）。里平地区は被害なしと報告があったため被害調査は実施していない。
- ・1回の被害調査（全体調査）で完結するよう一回目の調査方法を工夫できないかという課題が残った。今回の農業被害調査も、ほとんどの農家へ二度目の訪問をしている。また、農協等も発災後に農家を訪問するが、正式な被害調査として訪問していないため記録も無く、同じ農家へ役場と農協が何度も訪問するような結果となってしまった。（今後の課題）
- ・長時間停電（ブラックアウト）は、酪農家の搾乳作業に大きな支障となった。搾乳をしなければ乳牛の病気（乳房炎等）に繋がるため、各JAの対応により非常用発電機を可能な限り集めて各農家を順々に回り搾乳を行った。しかし、電源基盤や容量の関係で冷却や洗浄ができなかったことや、乳業メーカーに非常用電源が無く、生乳を受け入れてもらえなかったことなどから廃棄処分を余儀なくされた。今後は北海道が作成した「停電対応マニュアル」を参考にしながら、非常用電源の整備や備蓄について協議・検討したい。

### 経済観光課総括

- ・治山関係並びに林道関係については、振興局と関係を密に取りながら実施しており、被災箇所への復旧については目処がついている。
- ・商工業被害関係については、商工会を中心に被害報告を集約した。保険は殆ど掛けていない状況だった。

## 税務課総括

- ・全戸被害調査・罹災証明書に係る家屋調査を実施。（いずれも災害対策本部の指示によるもの）

- ・罹災証明書に係る家屋調査については、開始当初から、ほぼ税務課職員で対応していたが、人員不足から終盤は他課の職員を増員した。また、他町の建築担当職員の協力もいただいている。家屋調査の実施については、知識・経験を要すものであり、災害規模に応じ初期に調査員の養成が必要と思われる。

- ・町税の減免については、条例制定を9月28日に議会に上程し10月1日に公布した。

条例作成に当たっては国からの通知、熊本地震の際に制定された九州地区各市町村の条例を参考に作成。かなり早い時期の条例制定となったが過去の例においては、ある程度被害状況が把握できてからの対応が多いようなので、作成時期については今後検討が必要と思われる。

## 健康増進課総括

### 1. 避難所の開設について

- ・避難所で高齢者と幼児を連れた親子が同室のため、高齢者から「子供がぶつかってきて危険」「子供に押され転びそうになった」と苦情があったので年齢や家族構成で場所を分ける。

- ・避難所で配慮が必要な高齢者（認知症、主訴（訴え・要望）が多い、杖が必要など）が安心して過ごせる場所、ボランティアやヘルパーが必要である。

ケアマネがお世話する人が必要で無いと判断し避難させた高齢者が、主訴が多かったり、転倒しやすい等で見守りが必要となり「町職員で対応して欲しい」と苦情があり検討が必要。

- ・支援者がついていない車椅子利用者やてんかん発作がおきる疾病をもつ避難者への対応が町職員では不安という声があったので、福祉避難所やヘルパー等の配置が必要である。

- ・富川生活館に防災マスターがきてリーダーとなり避難者の生活や健康状態を確認していたが、役割分担等関係をとっていく必要があった。

- ・断水地区は口腔ケア用の洗口液、歯ブラシ等の配置が必要だった。

### 2. 避難所の食事について

- ・乳児用の離乳食、粉ミルク、紙おむつが避難所開設時にあった方が良かった。

- ・高齢者が喉つまりするケースがあったので、おかゆ等食べ易い（嚥下し易い）食事が必要だった。

- ・食物アレルギーのある乳幼児への対応も検討していく。

### 3. 外国人の対応について

- ・外国人は言葉が通じず日本語がわからないため、避難所がどこにあるのか等の情報が届かず不安、不便、不満があったので平常時から決めておく（主にファンタスト）
- ・外国人で心のケアの必要者がいたが、保健師が把握するまで時間がかかりタイムリーに対応出来なかったため、平常時から支援体制を検討していく。

### 4. 心のケアについて

- ・地震直後に町外の臨床心理士がボランティアを希望したが、ニーズの把握ができず断ってしまったようであるが災害が長期化すると必要な事もあるので今後のため、連絡先をおさえておく。
- ・町外よりボランティアに入りたいと連絡が来た場合の窓口とボランティアを希望する町民の窓口を同一にして、広く周知していく必要がある。

### 5. 職員の休養について

- ・地震9日目に町外からつぼマッサージのボランティアをしたいと希望があったが日程等の調整が取れず断った。職員が過労とならないよう町外からボランティアを受け入れを検討した方がよい。

## 水・くらしサービスセンター総括

- ・上下水道Gとも各施設の確認後、水道Gは断水箇所確認・復旧の対応行い、下水道Gは停電により発電機対応にてポンプ室の稼働及びくみ取りの対応を行った。
- ・電話が不通のため、本部との情報連絡等の関係が困難であった。
- ・避難所運営については、避難者の受入れ態勢に慣れていないことから準備等に戸惑いがあった。特に食料や寝具の調達、本部からの受入れ、また食事の提供が定まっておらず非常食だけの時もあれば、弁当の時やパンのみの時もあった。期限切れ1日前の食品がきたりなど期限管理も行った。
- ・寝具等について、段ボールベットの要望が避難解除後にあったが簡易ベットで対応済みであり段ボールベットよりは機能が上と判断した。
- ・避難者への配慮は、充分ではなかったかもしれないが声かけや目配りは出来ていたと思われる。
- ・防災マスターが来ていたが役割としては特になかったと思われる。今回は職員で対応可能な範囲だったが、今後もあるため役割分担等の検討が必要と思われる。
- ・医療体制として、保健師の巡回も必要ではあるが避難者の安心感という部分では医師の巡回も必要と思われる。

## 社会教育課総括(総合町民センター避難所対応)

- ・電話の使用が出来ないことから、本部との関係が困難だった。無線等を常備する必要があるのではないか。
- ・避難者の食料や寝具（毛布・マット等）の調達については、総合町民センターが避難所になるのは間違いないので、教育委員会の判断で防災倉庫の備蓄品を事後報告で確保する体制づくりの検討が必要。
- ・非常用電源等の燃料確保について、今回は独自に調達をしたが業者と事前に協定等を結び避難所に優先的に確保する体制づくりが必要。今回は夏だが冬期間の場合は避難所の暖房が必要となる。
- ・医療体制について、高齢者や幼児等の病気や怪我が心配。初日は日高から救急車が待機していたので、地震により頭部を怪我した高齢者1名の対応ができたが、2日目からは救急車が配置されなかったのが不安だった。

## 管理課総括(学校対応及び総合町民センター避難所対応)

- ・停電により携帯電話が使用不能となり、各学校への連絡ができなくなったため、臨時休校の周知が難しかった。また、学校から保護者への周知も出来なくなったため、防災無線による放送と避難所へのポスター掲示だけとなってしまったことから、保護者への周知方法について検討が必要である。
- ・電気及び水道復旧の目途がたたなかったため、学校や給食再開の指示に苦慮した。
- ・学校が避難所となった場合、非常用電源が無い場合早期確保が必要であると感じた。
- ・避難所の対応については、避難者への各種情報をホワイトボードに記載・掲示し速やかに提供した。また、主担当の社会教育課と共同で行うことにより、職員の負担軽減を図ることができた。

## 門別地域包括支援センター総括

- ・利用者及び高齢独居・高齢世帯へ訪問による安否確認及び居場所確保のための自宅片付け、避難所への送迎・遠方家族への状況報告、また物資配布・給水支援。
- ・各介護サービス事業所の営業状況の把握。
- ・子育て福祉課と緊急ショートステイ受入れ体制について協議・調整及びその後の帰宅支援、入所調整。
- ・在宅酸素療法者の緊急入院調整。
- ・見守りネットワーク事業登録者の安否確認。
- ・家屋倒壊等における住宅の確保の手続き支援や相談対応。

## 富川国保診療所総括

・発災当日は、診療所内の被害状況調査及び応急措置並びに施設の復旧対策を行った。現在の診療所の非常用電源は、手術室・非常灯等のみ（約5時間以内）の電気設備となっており、事務等に対応する簡易な電源設備を備え停電時においても診療できる体制を整える必要がある。

## 門別国保病院総括

・発災当初、建物及び医療機器の点検を行い、被害が見受けられなかったため通常診療を行った。入院患者及び老健入居者にも被害はなかった。断水時は透析患者対応のため給水車を依頼し対応した。

・課題としては、

①停電対策－自家発電を有するが燃料の確保が必要なため、災害時に優先的に供給が可能か検討が必要である。老健施設について非常用電源は防火設備の電気設備であり、通常の電気が使えない。このため、厨房の冷蔵庫が使えないなど、調理関係や入所者の夜間安全を図るための非常用電源設備が必要である。

②断水対策－地下タンクを有するが、地震で揺らされたことにより濁りが発生。飲み水の確保が必要である。また、人工透析並びに食事提供のために給水が必要である。

③救急対応－固定電話が使えない場合、救急車からの連絡が取れない。救急車が到着してからの対応となり準備が出来ない。通信手段の確保が必要である。災害対策マニュアルを作成しているが、今回の災害時にどれだけ対応出来たか検証し、今後にかさなければならぬ。

## 門別図書館郷土資料館総括

・地震の規模の割には被害が少ない。文化財は多少の被害があるもの軽微である。ただ、個人及び宗教法人の所有物もあり完全な原状回復には課題が残る。

## 日高総合支所総括

・この度の地震災害において、日高総合支所としての主な業務は、日高地区の地域住民の安否と被害状況の確認、そして本庁地区に対する人的・物的支援であった。

・日高地区においては被害が殆ど無かったため、地区内での災害対応業務は問題なく遂行できたと考えている。

・本庁への支援については、災害発生から数日間、情報や支援内容が交錯し、正確な情報、支援内容を確認することに手間取り、行動までに時間がかかった。



・日高総合支所においては、ひとつの部署において災害時に担当する業務がかなり重複しており、日高地区のみで災害が発生した場合は、本庁からの支援を受けられると思うが、両地区が大きく被災した場合、日高地区だけでの対応は困難と考えられ、自助・共助・公助を地域住民に十分に理解してもらおうとともに、防災・減災への意識改革を進める必要がある。

## 日高国保診療所総括

・日高地区においては、電気の復旧も早く、負傷者情報も無かったため、当日より通常診療を行った。発災当日は、電話回線が不通のため、消防と連携し消防無線を1台設置してもらい、救急搬送時の情報収集手段とし、看護師携帯電話を、転搬送時の医療機関への連絡用とした。しかし、電話回線が不通のため、住民が診察状況の確認をすることが出来なかった。このため災害時用の携帯電話が必要である。

・電気については、非常用電源が設置されており、停電と同時に作動したことを確認。診療に支障がでることはなかった。一方、隣接の高寿園には非常用電源設備が無いため、長期の停電になると支障が生じる。このため、診療所の非常電源が活用できないかを検討する必要がある。



(水・くらしサービスセンター避難所の様子)



(新光町生活館に設置された臨時洗濯機)

## 自主防災組織総括

〔日高町自主防災組織連絡協議会会長 豊島清治  
各地区自主防災組織会長からのアンケート結果〕

### ・情報伝達について

災害発生時における初動については、東日本大震災における津波被害を懸念し避難行動を各家庭にて行った。津波の影響が無いことを確認後は、避難所の場所、避難指示等が防災無線により行われたが、場所によっては無線が聞き取りにくい、もしくはほとんど聞こえない所もある。そのため、町でも推進している防災無線の携帯電話による登録を出来る方には組織としても今後斡旋をしていきたい。また、携帯がない世帯においては、生活館等で設置されている室内用の防災無線機の設置を促したいが、高齢者が多いため設置の助成も今後検討していただきたい。

会長→各班長→班会員 会長→副会長 で行った。

発災後、町内会役員2名により、独居及び老人世帯を対象とし声掛けを実施したが、結果全世帯行った。その結果、負傷者等がないことを確認した。

防災無線での情報（給水・停電・断水・避難所・風呂等）が聞き取れない。風向きやラジオ、TVの音量を下げている間に聞き逃したり、アナウンスする声質によっても聞きづらかった。

暗い朝、そして停電、地震発生場所の情報が取れなかった人が多かった。幸い車のTVで早来方面が震源らしく、津波は大丈夫という情報があり一安心だった。

今回の発生時刻は未明の3時8分という暗黒の状態だったので自分たちの生存確認をするのが精一杯。全ての電気が停止していたので、照明はもちろん電話も使用不能となった。明るくなってから巡回し、被災状況を確認した。幸い当地域では人身事故等が無かったので良かったが、もし発生していたら消防にも連絡できず、人命救助は出来なかったと思う。停電時でも使用できるハンディ無線の備えも必要だ。充電式のものであれば車からでも充電可能だからだ。

地震に関する情報が全く伝わっていなかったと記憶している。地震後の対応（特に断水について）は給水場所の連絡はあったが、セブンイレブン横に設置された時は連絡が無かった。高齢者宅を廻って給水できる状況にしたのは良かったと思う。

各班長及び役員は、携帯電話・徒歩・車にて伝達・情報収集に当たったが十分とは言えない。

## ・避難場所及び避難訓練について

町内会自主防災組織にて年1~2回避難訓練を実施している。訓練時には町の防災担当者及び西部消防署の職員に依頼し講義等を行ってもらっている。避難訓練を通して気づいた点で、高齢者が徒歩で避難する際の避難路の整備が必要な地域であり、災害発生時にどこに避難したら良いか等も組織として周知していきたい。

当会は高台にあるため、避難場所は町指定場所としている。避難訓練はしておらず、班内の要介護者への支援確認をしている。

これまでの訓練は津波を想定しているため、当組織は受入れ側の訓練のみ参加していたが、地震の場合の訓練等を実施するか、町が開催する訓練に参加する事とする。

当地域では生活館が唯一の避難場所となる。非常食と電源（ポータブル発電機）を常備する必要がある。地震・津波には使用可能だが水害時には使用が不可能（低地）と考える。今回は直接的な被害者がいなかったため避難場所は必要なかった。

当町内居住者で富川生活館に避難した方はいないと把握しているが、後日、避難所運営でトラブルがあったと聞いた。役場関係者だけでなく町内会でもお手伝いできることがあったのではないかと思います。連絡も無く手が出せる状況では無かった。課題として練り上げるべきと考えます。

## ・震災で行ったこと、出来なかったこと

町内会区域を一巡し建物の倒壊等がないか確認した。また、高齢で一人世帯を訪問し状況確認を行った。高齢者、身障者宅に町と調整を図り避難所から食料を調達した。一人暮らしの住宅で片付けの手伝いが必要な世帯を確認し協力した。

会長は会員全戸の安否確認を発災後の5:30に行っており、副会長・班長は同じく安否確認とその後（断水の給水等）高齢者・単身（独居高齢者）者の支援を行った。

地震発生後、携帯等が不通のため町内役員と連絡及び情報が取れず、会長等6名で各戸に安否確認で廻った。大きなけが人は居なかった。

役場職員の団地と公住により形成される地区のため、町内会役員を担う役場職員が、災害対策本部の対応に廻り、町内会としての対応に頭が回らない状況だった。

大雨の災害であれば事前の防災対策も可能だが、今回の様な災害では被災後からの対応しか出来ないため、公住の高齢者の多い事を考慮すると勤務時間外に災害対策本部との遠い部署の職員による公住の安否確認を行うべきだったと反省しています。

情報の入手方法がなく、直接個人宅や役場・農協等に出かけた。8日の20時近くまで停電が続いたので携帯電話も固定電話も使うことが出来なかった。

6時頃までに町内を一巡し被災状況を把握した。家屋及び家財被害だけで重傷者がいなかったのは幸い。町内会役員もよく動いてくれ情報提供してくれた。

## ・そ の 他

停電・断水の長期化に伴う不安を解消する情報提供が必要ではないか  
避難場所として、平時から清掃等の環境への配慮が必要ではないか  
避難場所の部屋割り等の配慮が必要ではないか  
震災を体験した子供達の不安を和らげる対策が必要ではないか

当会の特殊性は、富川南・北・富浜・平賀地区での被災者（知人・友人）の受入れにあり、今回はその様なことがなかったので一安心している。

給水に関しては16時以降に町内を廻ってもらい良かったと感じる。  
発災後、防災無線から津波等の情報が流れるものと耳を澄ましていた人が多かった。  
町の停電対策は大丈夫ですか？

自主防災組織内の役員見直し、地震の時の対応など（津波の時等）について、一度協議をしておくべきと感じています。

今回の地震災害を受け、自主防災組織のあり方等を見直し、マニュアルの改訂を行い全戸配布した。

住民より震災後の様々な復旧に対する手続きの方法が解らないという意見があった。



(自衛隊見送り式)

## 他機関の支援状況

### ○防衛省

入浴支援 9月13日～9月17日 はくおう号が苫小牧西港で入浴支援

### ○陸上自衛隊

第7師団 第7特科連隊 第3特科大隊  
第7特科連隊 第7高射特科連隊  
第7特科連隊 第11普通科連隊  
第7後方支援連隊

北部方面混成団 第52普通科連隊

北部方面情報隊 北部方面無人偵察機隊

第1高射特科団 第101無人偵察機隊

給水支援 9月6日～9月19日

9月8日～9月17日（給水所にて物資配付支援）

第5旅団 第5後方支援隊

入浴支援 9月9日～9月17日

### ○財務省北海道財務局 9月26日～10月4日（6日間）

主な業務 罹災証明書受付業務

### ○国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部（リエゾン派遣） 9月6日～16日

主な業務 照明車・給水車・大型土嚢1000袋・応急工事に対する道路占用許可  
ドローンによる被災箇所の写真撮影

### ○林野庁北海道森林管理局日高北部森林管理署

主な業務 土砂災害警戒区域の安全確認

### ○北海道札幌方面門別警察署

主な業務 避難指示区域の住民周知、避難者の住宅巡回等

### ○北海道日高振興局（リエゾン派遣） 9月6日～9日

主な業務 連絡調整員・罹災証明支援・地すべり対策及び警報器設置

### ○日高管内各町 9月15日～10月5日

新冠町7日間・新ひだか町4日間・浦河町3日間・様似町6日間

主な業務 罹災証明に係る家屋調査

### ○日高西部消防組合富川消防署（連絡員派遣） 9月6日～16日

主な業務 自衛隊給水支援（新冠町及び新ひだか町までの給水作業）及び広報活動等

### ○国立研究開発法人寒地土木研究所

主な業務 町営富川球場の地質調査

### ○国立日高青少年自然の家

主な業務 食糧支援

○日高町建設協会 9月12日～9月15日

主な業務 災害ゴミの分別・回収・運搬

○不動産鑑定士協会 9月25日～11月20日（21日間）

主な業務 罹災証明に係る家屋調査

○日高高原荘

主な業務 食糧支援

## 平成30年北海道胆振東部地震による被災者支援制度

日高町見舞金	全壊100万円	2世帯
	大規模半壊・半壊（住宅）50万円	47世帯
	大規模半壊・半壊（寄宿舍）20万円	2世帯
	入院14日以上10万円	2世帯
町営住宅の緊急入居		17戸
災害救助法に基づく住宅応急修理		13戸
災害救助法に基づく民間賃貸借上		3戸
災害援護資金貸付		0件
北海道住宅被害見舞金	全壊（自己） 20万円	1世帯
	半壊（自己） 10万円	33世帯
	全半壊（借家） 6万円	16世帯
NHK放送受信料免除適用の情報提供	対象 半壊以上	
NTT通話料減免に係る情報提供	対象 避難勧告・指示区域	
断水地区の上下水道料金の免除及び減免	対象 各断水地域	
罹災証明交付状況	全壊3件 半壊57件 一部損壊424件	
被害認定調査棟数		484件
※以下は支援受付等継続中		
徴税の減免について	半壊以上 町道民税	7件
	半壊以上 国民健康保険税	3件
	半壊以上 固定資産税	4件
介護保険料の減免	半壊以上	20件
後期高齢者医療保険料の減免	半壊以上	16件
被災者生活再建支援制度	全壊	3件
	大規模半壊	2件
	半壊取壊	4件
北海道義援金	全壊80万円	2件
	半壊35万円	48件
	一部損壊（自己）5万円	139件
全壊・半壊家屋に係る災害ゴミ補助事業		0戸

（平成31年1月31日現在）

地震に係る防災無線放送履歴

題 名	日 付	放送時間	放 送 内 容 及 び 発 信 方 法
避難勧告	9月7日	15時30分	平賀・富川北4丁目・富川北5丁目・富川南6丁目・富川南2丁目の一部・富川東5丁目の一部 緑町の一部・豊郷・庫富・広富 913世帯 1947人 TV防災情報に電話連絡のみ - 防災無線の非常用電源は稼働しているが、インターネットが不通のため エリアメールは使用不可。アラートも使用不可。
給水情報	9月8日	17時43分	給水場所及び給水時間。 エリアメール及びTV防災情報に電話連絡。アラート使用不可。
避難指示	9月9日	11時30分	富川南2丁目の一部 66世帯119人 富川球場亀裂による エリアメール及びTV防災情報に電話連絡。アラート使用不可。
小中学校の休校等について	9月9日	12時57分	臨時休校及び午前授業のお知らせ。 エリアメール対応

題 名	日 付	放送時間	放 送 内 容
学校について	9月9日	12時30分	門別小学校・富川中学校臨時休校。富川小学校・門別中学校・厚賀小学校・厚賀中学校午前授業
		13時30分	
		14時30分	
		15時30分	
		16時30分	
富小避難訓練	9月10日	9時20分	地震により放送中止
臨時休校について	9月10日	15時30分	富川中学校臨時休校。富川小学校・門別小学校・門別中学校・厚賀小学校・厚賀中学校午前授業
		16時30分	
臨時お風呂	9月11日	12時10分	地域に関わらず入浴可能である、自衛隊の臨時お風呂開設のお知らせ
		13時00分	
		15時00分	
		18時00分	
災害ゴミ変更	9月12日	10時00分	ゴミの集積場を富川東防災広場1か所に変更
臨時お風呂	9月12日	10時30分	地域に関わらず入れる、自衛隊の臨時お風呂開設のお知らせ
ゴミ広報について	9月13日	12時00分	災害ゴミの集積を9月16日の8時半から18時まで行っている
		15時00分	
詐欺のご注意	9月13日	16時00分	地震発生に伴う、空き巣、車上荒らし、義援金を口実とした詐欺の注意
		17時00分	
避難勧告一部解除について	9月15日	14時00分	土砂災害に伴う、富川南6丁目、平賀の水田沢川地先を除く地域解除
避難勧告及び避難指示解除のお知らせ	9月16日	14時00分	土砂災害に伴う、富川南2丁目、平賀の水田沢川地先の地域解除
避難所一部閉鎖	9月17日	10時30分	総合町民センターの避難所閉鎖
9月20日防災訓練中止	9月18日	15時00分	日高町・北海道警察合同の防災訓練中止
スポーツセンター使用再開について	9月18日	16時00分	地震により使用停止していた、スポーツセンターの使用再開
給水時間の変更について	9月18日	17時00分	富川自動車学校及びセブンイレブン富川西の給水時間を午前7時から午後6時までに変更
給水活動終了のお知らせ	9月19日	17時00分	午後6時をもって、富川自動車学校、セブンイレブン富川西の給水活動を終了



# 避難者人数推移

地域	避難動向		避難所	9月													
	世帯数	人数		6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
1 平賀	168	371	平賀生活館		7	4	10	6	10:00閉鎖								
2 富川北4丁目、5丁目 富川南6丁目、2丁目 一部	74 53	165 95	水・くらしサービスマスター	39	24	67	35	33	38	22	24	21	7		7	5	15:00閉鎖
3 富川東5丁目の一部 緑町の一部	99 247	226 517	総合市民センター	122	86	176	64	25	23	17	4	2	3	10:00閉鎖			
4 豊郷	150	334	豊郷生活館		3	0	0	10:00閉鎖									
5 庫富 広富	85 37	169 70	庫富生活館		14	0	0	10:00閉鎖									
6			富川生活館	90	54	55	6	10:00閉鎖									
7			門別公民館	26	13	8	4	10:00閉鎖									
8			厚賀コミセン	16	5	0	13:00閉鎖										
9			清島生活館 (7日10:00まで自主運営)	5	5	3	13:00閉鎖										
	913	1947	合計	298	211	313	119	64	61	39	28	23	10	7	5	0	

# 水道復旧状況

胆振東部地震被害による復旧状況				断・減水状況		
月日	復旧内容	被災管種	口径	門別本町、緑町	富川西、駒丘	福満、緑町
9/6	門別本町（旧共済前）補修工事 富川北6（ミドリ川沿い）補修工事 富川第2浄水場前処理ろ過装置応急仮工事資材発注	配水管 配水管	VPφ150 VPφ50	(世帯数) 断水 (605)	(世帯数) 断水 (925)	(世帯数)
9/7	門別本町（多恵美容室横）補修工事 富川北3（富川北24号線沿い）補修工事 富川第2浄水場前処理ろ過装置応急仮工事 富川第2浄水場急速ろ過池浄水処理調整作業	配水管 配水管	VPφ100 VPφ100	(605)	(925)	
9/8	門別本町地区 字平賀（平賀3号線）補修工事 庫富配水池空気混入による排泥作業	給水管 送水管	1件 DCIPφ150	断水解消 ( 0)	(925)	断・減水
9/9	富川西2（北電前）補修工事 平賀配水池清掃、貯水試験 庫富配水池空気混入による排泥作業	配水管	VPφ100		(925)	断・減水解消
9/10	庫富配水池空気混入による排泥作業				(925)	
9/11	平賀配水池系統通水、排泥作業				(925)	
9/12	平賀配水池系統通水、排泥作業				(925)	
9/13	駒丘配水池貯水試験 駒丘第2送水管排泥作業 富川西4（競馬場入口前） 富川西7～12（平松地区）へ通水開始	配水管	φ200		【断水地区】 西1～6、駒丘 (795)	
9/14	駒丘配水池～国道235号まで通水開始 富川配水池応急仮工事	送水管	φ300		(795)	
9/15	競馬場内通水開始 競馬場→セブンイレブン通水開始				【断水地区】 西1～3(1部) (588)	
9/16	富川西1～4地内（国道235号沿い）石綿管φ150切替工事 競馬場→ロソン通水 駒丘第1→自動車学校通水 門別本町地区	給水管	1件		断水解消 ( 0)	
9/17	富川西3（西15号線沿い）補修工事 富川西地区	配水管 給水管	VPφ50 3件			
9/18	駒丘第1ポンプ場裏補修工事 富川西地区	配水管 給水管	ACPφ150 2件			
9/19	富川西1（西25号線沿い）石綿管φ150切替工事 富川西1（西33号線沿い）補修工事	配水管	VPφ50			
9/20	富川西地区	給水管	1件			
9/21	富川西1（西17号線）補修工事 富川西2（トヨタカーラ前）石綿管φ150切替工事	配水管	ACPφ150			

# 地域別停電復旧時間

地域名	9月6日		9月6日		9月7日		9月8日		9月9日		備考
	発生時間	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM		
富川北・富川東・富川西・門別本町・緑町・旭町・豊郷	3:12	→	→	→	→	17:26	→	→	→	20:47	9/7 17:26一部送電 9/8 20:47全送
富川北・富川西・富川駒丘	3:12	→	→	→	→	→	→	→	→	15:15	
富川東・富川北・平賀	3:12	→	→	→	→	9:05	→	→	→	→	
富川北・富川南・富川東・富川西・福満・緑町・庫富・広富・幾千世・旭町・豊郷・清島	3:14	→	→	→	→	→	→	→	→	0:35	
富川北・富川南・富川西	3:10	→	→	→	→	→	→	→	→	13:16	
富川北・平賀	3:12	→	→	→	→	→	→	→	→	20:01	
富川南・富川西	3:12	→	→	→	→	→	→	→	→	21:18	
厚賀・美原・豊郷・清島・賀張	3:25	→	→	→	→	→	→	→	→	19:16	
厚賀・正和・美原・豊田	3:25	→	→	→	→	→	→	→	→	21:01	
日高・新町・宮下町・山手町・栄町西・栄町東・千栄・日勝峠	3:25	→	→	→	→	→	→	→	→	6:55	
日高・本町東・本町西・栄町西・栄町東・松風町	3:25	→	→	→	→	→	→	→	→	7:03	
日高・富岡・三岩・本町西・本町東・若葉町・松風町・山手町	3:25	→	→	→	→	→	→	→	→	7:06	

※全道ブラックアウトは 3:25

右左府発電所に  
よる  
単独運転で送電。

給水及び入浴支援状況

	新冠町給水支援	新ひたか町給水支援
9月6日	陸上自衛隊第7師団派遣要請	66,120
9月7日	給水2カ所(役場前・富川自動車学校前)	52,000
9月8日	給水3カ所(役場前・富川自動車学校前・町民センター前)	38,300
9月9日	"	23,560
9月10日	"	34,500
9月11日	給水3カ所(役場前・富川自動車学校前・競馬場前)	14,490
9月12日	給水3カ所(富川自動車学校前・セブイレブン前・競馬場前)	34,860
9月13日	"	33,000
9月14日	"	32,930
9月15日	"	35,750
9月16日	給水2カ所(富川自動車学校前・セブイレブン前)	27,450
9月17日	"	3,120
9月18日	"	1,144
9月19日	給水活動終了～16時まで 17時 見送り式(役場前)	420
	計	397,644

9/8～9/17※給水所において、物資の配布協力

9月9日炊飯支援(カレーとご飯の暖め支援)

日	内容	人数
9月9日	陸上自衛隊第5后方支援隊に入浴支援要請	193
9月10日	入浴支援開始 13時～21時30分	233
9月11日	"	333
9月12日	"	430
9月13日	"	372
9月14日	"	307
9月15日	"	156
9月16日	"	143
9月17日	入浴支援終了～21時30分まで	143
9月19日	9時30分 見送り式(役場前)	
	計	2,310

9/13～9/17 ばくおろ号入浴支援(苫小牧西港)

不明 人

とねっこの湯内訳

日	人数
9月14日	100人
9月15日	194人
9月16日	550人
計	1,456人

平成30年胆振東部地震災害支援 むかわ町民 とねっこの湯無料入館者数 一覧表

実施 日数	年月日	曜日	バス送迎者数(むかわ町 四季の館 発)				バス 利用者 合計	9月30日から10月下旬まで予定 むかわ町民限定 無料入館者 (通常の入館者数に含まず)		合計	備考
			1便 15:00発	2便 16:00発	3便 17:00発	4便 19:00発		バス利用者 (災害支援用無料 券)	自家用車等 (災害優待 SPクーポン)		
			温泉 15:30着	温泉 16:30着	温泉 17:30着	温泉 19:30着		災害支援用 無料券 未作成			
1	2018/9/30	日	24	3	1	10	38		54	54	バス利用者に無料対象者(避難者、お風呂損壊宅、ボランティア、自衛隊)のほか、バスを使用して自費の入浴者(通常の四季の館利用者)が混在。 バス利用者38名。 バス利用者内の、避難者名簿入場(優待券使用無し)8名。 災害優待SPクーポン券使用者46名。
2	2018/10/1	月	24	5	3	11	43	43	21	64	10月1日以降、バス利用者全員無料とし当日限りの無料券を配布、自家用車を利用した無料対象者(避難者、お風呂損壊宅、ボランティア、自衛隊)は災害優待スペシャルクーポン券を使用。  9月30日から10月14日まで、自衛隊バス使用。
3	2018/10/2	火	22	14	7	16	59	59	28	87	
4	2018/10/3	水	21	14	3	27	65	65	19	84	
5	2018/10/4	木	23	10	2	16	51	51	29	80	
6	2018/10/5	金	21	9	1	17	48	48	33	81	
7	2018/10/6	土	25	9	1	16	51	51	30	81	
8	2018/10/7	日	16	8	8	8	40	40	36	76	
9	2018/10/8	月	23	7	9	18	57	57	38	95	
10	2018/10/9	火	15	8	4	21	48	48	28	76	
11	2018/10/10	水	21	10	5	16	52	52	40	92	
12	2018/10/11	木	14	7	2	20	43	43	29	72	
13	2018/10/12	金	33	7	0	14	54	54	41	95	
14	2018/10/13	土	18	5	5	16	44	44	35	79	
15	2018/10/14	日	20	5	5	15	45	45	45	90	
休館 日	2018/10/15	月					0				
16	2018/10/16	火	23	11	2	19	55	55	46	101	10月16日から10月31日まで、むかわ町所有バス使用。
17	2018/10/17	水	20	5	5	16	46	46	40	86	
18	2018/10/18	木	20	9	2	13	44	44	42	86	
19	2018/10/19	金	14	5	2	16	37	37	33	70	
20	2018/10/20	土	23	10	0	17	50	50	49	99	
21	2018/10/21	日	15	9	4	9	37	37	42	79	
22	2018/10/22	月	25	10	2	16	53	53	32	85	
23	2018/10/23	火	14	7	5	12	38	38	28	66	
24	2018/10/24	水	23	13	0	10	46	46	46	92	
25	2018/10/25	木	19	7	4	15	45	45	38	83	
26	2018/10/26	金	23	11	5	16	55	55	36	91	
27	2018/10/27	土	17	6	2	9	34	34	44	78	
28	2018/10/28	日	23	7	4	13	47	47	51	98	
29	2018/10/29	月	19	7	1	10	37	37	31	68	
30	2018/10/30	火	24	12	1	14	51	51	36	87	
31	2018/10/31	水	25	12	1	13	51	51	45	96	
合計			647	262	96	459	1464	1,426	1,145	2,571	
平均			20.87	8.45	3.10	14.81	45.75	47.53	36.94	82.94	

## ライフラインの復旧見込み

**電気** 門別地区全域 1週間程度

**水道** 門別本町地区 2日以上の見込み

富川西、富川駒丘、富川北の一部、平賀の一部 現時点で未定

**ゴミ収集** 衛生組合の収集は通常どおり

地震に係るゴミは別途お知らせします

役場への連絡は役場本庁舎、水・くらしサービスセンター、厚賀出張所へ直接お越し下さい。

.....

〈お知らせ〉

# 災害ごみの集積場を設置します

この度の地震で発生した災害ごみは、次の集積場で収集します。  
期間は9月9日(日)から16日(日)までです。

## 【集積場所】

### 富川地区

- 富川東防災広場(町民センター向かい)
- 佐留太生活館 駐車場空地
- JAびらとり農協ルシナ店 駐車場横
- 表町団地住宅跡地(富川南)
- 富川ニュータウン空地(富川駅裏側)
- 勇和電工 倉庫横の空地(ヤンマー富川店 入口奥)

### 本町地区

- 門別わかば保育所 建設現場横
- 下水道門別浄化センター手前 町道沿い(門別本町)

### 厚賀地区

- 厚賀交通公園グラウンド
- 厚賀会館 駐車場

災害ごみは必ず、次のとおり分別して所定の場所に出してください。

## 【分別方法】

- 燃えるごみ……………紙・生ゴミ・プラスチック
  - 燃えないごみ……………金属ごみ、金属にプラが付いているもの
  - ガラス・陶器ごみ…食器など
  - 大型ごみ……………食器棚・タンスなど
  - 小型家電……………リサイクル家電以外の家電、電子レンジ、パソコンなど
  - リサイクル家電……………リサイクル4品(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)
- ※ ガラス・陶器ごみと小型家電は、必ず設置している土のう袋へ入れてください

## 〈日高町〉

# 災害廃棄物(片付けごみ)フロー

富川地区	富川重防炎広場 (市民センター向かい)	9月9日 開	(特送物は受付)	燃えるごみ (紙、生ごみ、プラスチック)	9月25日現在	容量	フレコン	その他
	佐留本生活館 駐車場空地	9月9日 開			ガラス・陶器類1 280㎡	140	袋	
	JAひらとり農協 ルンナ店 駐車場横	9月12日 閉			ガラス・陶器類2 10㎡	22	袋	
	表町団地住宅跡地 (富川南)	9月9日 開			ガラス・陶器類3 1㎡	3	袋	
	富川ニュータウン空地 (富川駅裏側)	9月12日 閉			(小計)	291㎡	165	袋
	順和電工 倉庫横の空地 (ヤンマー富川店 入り口奥)	9月9日 開			プラスチック類1 432㎡	130	袋	
	門別わかば保養所 建設現場横	9月12日 閉			プラスチック類2 336㎡	91	袋	
	下水溝門別浄化センター 手前 町道沿い(門別本町)	9月9日 開			プラスチック類3 70㎡	58	袋	
	厚賀交通公園グラウンド	9月12日 閉			(小計)	838㎡	279	袋
	厚賀会館 駐車場	9月9日 開			可燃ごみ1a 864㎡	540	袋	
		9月12日 閉			可燃ごみ1b 480㎡	1aに含入	袋	
		9月9日 開			可燃ごみ2 20㎡	11	袋	
		9月12日 閉			(小計)	1,364㎡	551	袋
		9月9日 開			木くず 2,100㎡	-		
		9月12日 閉			消火器類 53本			
		9月9日 開			がれき1 10㎡	6	袋	
		9月12日 閉			がれき2 6㎡	1に含入	袋	
		9月9日 開			がれき3 5㎡	10	袋	
		9月12日 閉			(小計)	21㎡	16	袋
		9月9日 開			たたみ 6㎡	85	枚	
		9月12日 閉			(小計)	㎡		
		9月9日 開			冷蔵庫 486台			
		9月12日 閉			テレビ 約 1,100台			
					洗濯機 221台			
					エアコン 5台			
					(小計)	1,812	台	
					小型家電 34,221*			
					金屑くず 34,730*			
					(小計)	68,951*		
					【合計】	4,574*	1011	袋



## 新聞等の情報





# 眠り破る烈震

## 土砂の波 民家のむ

### 「まさか…」無事祈る家族



土砂崩れで家が倒壊し、救助活動を行う消防官ら＝6日午前7時25分、厚岸町山形（三社へりから、倉田洋樹撮影）

「まさか…」とつぶやいたのは、厚岸町山形（三社へり）に住む佐藤一家だ。6日午前7時25分、突然襲った地震で、自宅の2階部分が倒壊し、土砂の波が押し寄せた。家族は全員無事だったが、家の被害は甚大だ。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

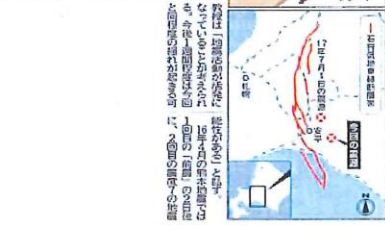


佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。佐藤一家は、地震発生後、しばらくの間、自宅の敷地内に避難していた。消防隊員が到着し、救助活動を行った。

### 初の震度6強直下型

#### 強い揺れ1週間警戒

厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。



厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。この地震は、厚岸町山形（三社へり）で発生した地震は、震度6強の直下型地震であった。

# 強い地震続く恐れ



数週間前による土砂崩れが起こるメキシコ

## 「表層崩壊」の可能性 厚真土砂崩れ 台風で表土不安定に

厚真町の土砂崩れは、台風による表土の不安定化が原因と見られる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。

厚真町の土砂崩れは、台風による表土の不安定化が原因と見られる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。

厚真町の土砂崩れは、台風による表土の不安定化が原因と見られる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。崩壊した表層は、土砂崩れの原因となる。

## オスプレイ訓練中止 被災者の救助を優先

被災者の救助を優先

オスプレイの訓練は、被災者の救助を優先するため中止された。訓練は、被災者の救助を優先するため中止された。訓練は、被災者の救助を優先するため中止された。

## 「1週間は警戒必要」

「1週間は警戒必要」として、厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。

厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。厚真町の土砂崩れに関する注意喚起が行われている。



発生年月	発生場所	発生規模	被害状況
1993年7月12日	北海道中支庁	6棟	崩壊高で津道等、死者、行方不明者230人
1997年1月17日	胆振支庁	7	崩壊高中央など、死者、行方不明者643人
2003年9月26日	十勝支庁	6回	死者1人、行方不明者1人、849人負傷
04年10月23日	北海道中支庁	7	死者1人、行方不明者1人、849人負傷
05年11月16日	胆振支庁	5回	1人負傷
11年11月	胆振支庁	7	死者1万9830人、行方不明者269人、重傷者119人、軽傷者269人
13年2月2日	十勝支庁	5回	14人の負傷
16年11月16日	胆振支庁	7	死者29人(乗用車を含む)、2607人負傷
16年12月	大規模な土砂崩れ	6回	死者5人、436人負傷

石狩断層帯「関連な」... 石狩断層帯の活動性に関する研究が進められている。石狩断層帯の活動性に関する研究が進められている。石狩断層帯の活動性に関する研究が進められている。

### 地殻分厚く 条件特殊

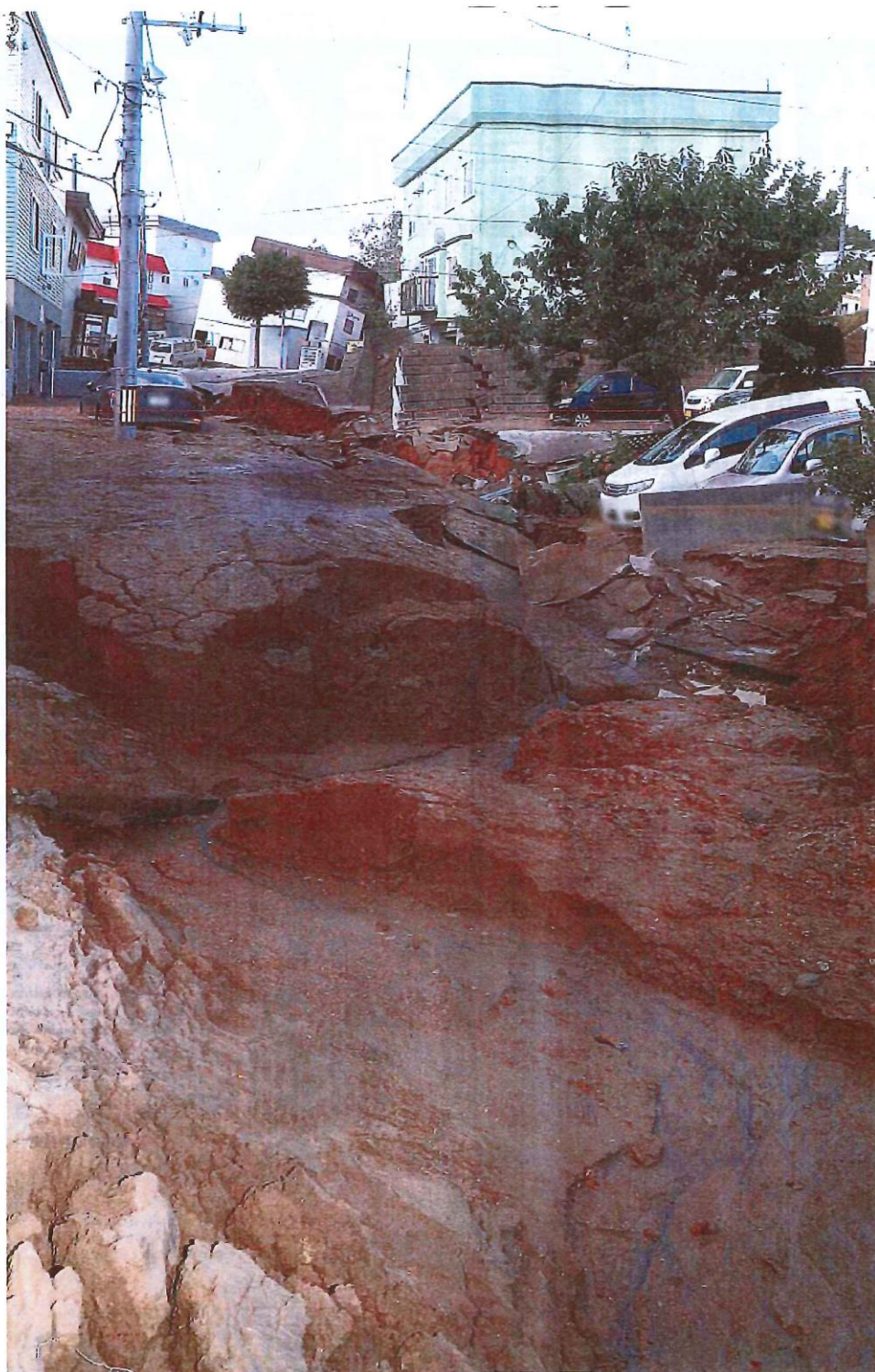
厚真町の土砂崩れは、地殻が厚く、条件が特殊なため発生したと見られる。地殻が厚く、条件が特殊なため発生したと見られる。地殻が厚く、条件が特殊なため発生したと見られる。

### 震源深く 揺れ広範囲

厚真町の土砂崩れは、震源が深く、揺れが広範囲にわたったため発生したと見られる。震源が深く、揺れが広範囲にわたったため発生したと見られる。震源が深く、揺れが広範囲にわたったため発生したと見られる。

### 火山噴出物 崩れたか

厚真町の土砂崩れは、火山噴出物の崩壊によるものと見られる。火山噴出物の崩壊によるものと見られる。火山噴出物の崩壊によるものと見られる。



液状化とみられる現象で陥没した道路＝6日午前8時55分、札幌市清田区里塚（井上浩明撮影）

2018年9月7日（金）北海道新聞朝刊



多くの土砂崩れが起きた胆振管内厚真町の山林。斜面が無残に土色の山肌をさらした  
 11月6日午後1時40分（木社（り）から、金田淳撮影）

## 山が崩れた 灯が消えた



多くの住民が身を寄せた札幌市北区の北九条小学校体育館。停電で明かりがない中、スマートフォンの光だけが目立った  
 =6日午後8時15分（大城ノ城撮影）



地震で大規模停電し信号機が点灯しないため、札幌市中央区のスキ／交差点で交通整理する警察官 =6日午前4時20分（中川朝紀撮影）



天井が落ちるなどの被害が出た地下鉄空道駅1  
 ミナビル。最上階から作業員が緊急対応の態勢に  
 関わった。6日午前1時5分（大城ノ城撮影）

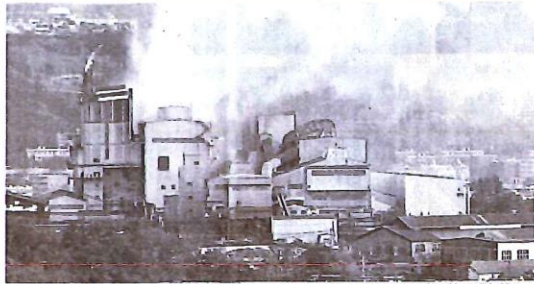
2018年9月7日（金）北海道新聞朝刊





# 停電 経済に大打撃

## 工場停止 物流は混乱



新日鉄在釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

### ■製造業

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

### ■一次産業

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

## 海外メディアも速報

### 旅行への影響懸念の声

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

## 泊、電源復旧に9時間

### 規制庁「情報提供不十分」

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

### 大規模停電対応 「北電は努力を」

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

### 携帯つながりにくく 道内停電で電波に影響

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

### J-A全中会長が 首相に支援要請

釜山製鉄所構内の三菱製鋼釜山特許間で地震直後に発生した火災。煙火されたが、工場は操業を停止した=6日午前5時（大原幹平撮影）

# 停電 生活まひ



札幌市大通の通りを歩いている市民。札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。



札幌市内の病院で、医療スタッフが患者の処置を行っている様子。停電により、手術室やICUなどの重要な医療機器が停止している。

## 病院 外来診療中止も 食料確保へ店に列

「札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。」

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 厚真、日高 5秒動く

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 「札幌全域で断水」ネットにデマ

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 自衛隊が注意喚起

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### アマン住宅 無償貸出し

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 観光客 クタクタ

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 外国人向けに 道が相談窓口

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 秋のイベント 相次ぎ中止

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 被災者へ 札幌市提供

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 木紙が另外配布

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

### 道が相談窓口

札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

- #### 地図の道内ドキュメント
- 6日 3時30分ごろ 札幌市中央区でマグニチュード1.5の地震発生。地震発生後、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 3・09 道庁が札幌市に、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 3・20 厚真町で、厚真町は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 3・25 北海道電力が、北海道電力は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 3・28 道庁が、道庁は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 3・40 道庁が、道庁は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 4・10 道庁が、道庁は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 5・23 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 6・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 9・45 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 10・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 12・30 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 13・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 13・35 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 15・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 15・30 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 15・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 17・30 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 18・45 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。
  - 22・00 札幌市が、札幌市は、電力供給が止まったため、市内全域で停電となった。市民は、生活に支障をきたしている様子だ。

# 停電 暮らしに不安

## 「透析できぬ」医療混乱

北海道南西部を6日未明に襲った地震では、道内のほぼ全世帯にあたる29万戸が一時的停電し、市民生活が大混乱を受けた。急患の受け入れや診療ができなくなる医療機関が相次ぎ、空車の閉鎖や鉄道の運休など交通網もまひ。生活物資や携帯電話の充電を求め、市民が長い列を作った。

6日午後3時現在、道内 札幌市の災害時基幹病院の349病棟が停電し、医にならているNIT東日本医療現場にも影響が広がった。札幌病院は一般診療を取



携帯電話の充電をするために長蛇の列ができた（6日午後5時34分、札幌市役所で）＝田中新一撮影

りやめただけでなく、救急患者の受け入れもできなくなった。札幌市は「透析ができぬ医療機関が相次ぎ、空車の閉鎖や鉄道の運休など交通網もまひ。生活物資や携帯電話の充電を求め、市民が長い列を作った。」

札幌市では、病院に入院する患者も、透析を受けられない患者が350人以上残っている。内科部長は「透析ができない状態が、4日続くともいわれる」と話した。

停電は、難病などで人工呼吸器が欠かせない在宅の患者にも不安を与えている。

## 交通マヒ 観光客困惑

新千歳空港も閉鎖に追い込まれ、全便が欠航した。同空港の運営会社によること、建物の一部が損傷したことや停電で電気が供給されなかったのが閉鎖の原因という。鉄道では、JR北海道が北海道新幹線を含む道内の全14路線を運休。札幌市の市営地下鉄と路面電車（市電）も全面運休した。

## 札幌 液状化相次ぐ 台風影響が

札幌市南区内では水道管が破裂し、液状化現象もあつたとみられ、市道が長さ50〜70メートルにわたって陥没した。道路沿いの住宅が傾き、周囲には大層の泥水があふれ、車が土砂に埋まるといった被害もあつた。

区内には水が豊富な谷筋を、火山灰を含んだ土で埋め立てて造成した住宅地が多く、03年と1998年の2度の十勝沖地震でも、液状化が確認されたという。

今回は03年より被害が深刻とみられ、規模も大きい。揺れが非対称なため、土砂が崩れやすくなるとみられる。また、土中の水分が多く、被害が拡大した可能性もあると話す。

国土交通省北海道開発局の発表によると、液状化は苫小牧港（東港）のコンテナ埠頭でも確認された。

市内の別の病院に救急搬送された。

■充電・食料  
情報の入手をスマートフォンに頼る市民や観光客らが、充電できる施設に押し寄せ、食料も不足した。札幌市は午前8時半に市役所1階に臨時の充電所を開設すると、ツイッターなどで瞬く間に情報が広まると、600人を超える順番待ちができた。

## 公立園校休校

北海道教育委員会によると、6日は道内の小中高校が14校割れ、残り19校のうち197校のうちの19校が臨時休校となった。7日も震度7を観測した厚岸町のある胆振地帯と札幌市などで計19校が休校する。

地震の影響で、札幌真栄高校では、体育館のガラスが14枚割れ、残り12枚が沈下した。

道庁高校と函館聖学校では、校舎の外壁にひびが入っているのが確認された。

## 表層の軽石 一気に崩落

今回の地震では、北海道厚岸町などで大規模な土砂崩れが発生した。崩れなかつた傾斜地も、地震で地盤が緩み、崩れやすくなっている可能性がある。今後とも注意が必要だ。

道庁は、道庁防災研究所の酒井俊孝（京都市防災研究所）や、厚岸町の山地の表層部は、支那河川の過干渉が原因と推察した。

や尾根から始まっていると、土砂崩れが山頂や尾根に集中し、揺れが増幅された結果、広い範囲で土砂崩れが起きた可能性がある」と指摘した。

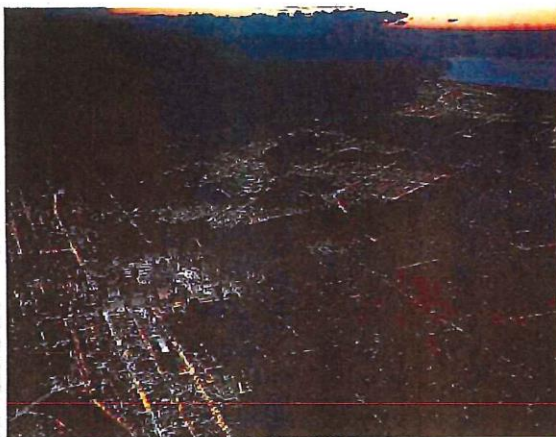


# 北海道地震 死者16人に

6日未明に起きた北海道胆振地方を震源とする最大震度7の地震に関し、政府は7日午前16人が死亡し、札幌市の8人が容体不明になっていると明らかにした。引き続き、救助捜索活動が進められている。道内では余震が発生し停電は全体の半の140万戸で消滅、北海道新幹線・新函館北斗新線（新線）が同日正午を過ぎて再開も見通しはなし。前半夜強震は午前中の動揺から再開した。市生活が回復する動きも出てきた。

## 停電なお半数 155万戸

大規模な土砂崩れが発生、震度は7.3カ所に及び、電車が再開、市営地下鉄に札幌市では夜通しで警報、488人が避難して、市は午後5時再開する見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。



夜を迎え停電したままの札幌市内の住宅地（右）、JR札幌駅周辺（中央左）も暗いままだった=6日午後6時44分、本社機から、山本壮一郎撮影

7日午前5時現在、道内では376箇所が停電中。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。

電力供給を再開している。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。札幌市では、市営地下鉄の運転再開も見通しを示した。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

## 闇夜の札幌 人影も消えた

札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。この日の夜、札幌市は、大規模な停電が6日午後8時分、いつの間にか消えていった。

厚真ダムでも湖岸の斜面崩落で大量の土砂がダム湖に流入した  
 = 7日午前8時45分、胆振管内厚真町管内（本社へりから、金田淳撮影）

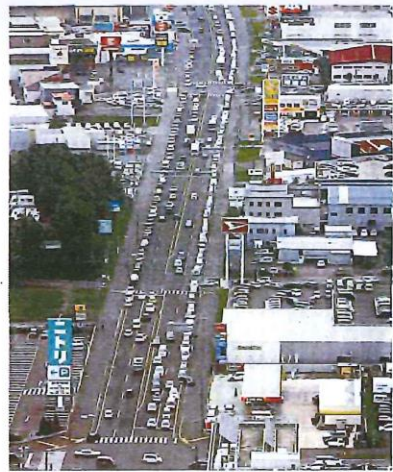


がれきの山からしびの破片等に取っ見つる住民  
 = 7日午前5時45分、厚真町管内（山田明紀撮影）



運行再開を待つ乗客で埋め尽くされたJR札幌駅構内  
 = 7日午後1時（玉田一撮影）

# 深い爪痕 復旧懸命



ガソリンスタンド（右手前と左奥）で給油するため国道の両方向の車線に車の長い列ができた = 7日午前9時45分、札幌市清田区里塚（本社へりから、金田淳撮影）



夜を徹して、損壊した道路などの復旧作業が続けられた = 7日午前6時50分、札幌市清田区里塚（井上浩明撮影）



早来小学校の給水所で配られた水運ぶ人たち  
 = 7日午前9時20分、胆振管内安平町（前月恒撮影）

2018年9月8日（土）北海道新聞朝刊

## 東区は震度6弱 札幌史上最大

気象庁は7日、胆振東部地震で震度が分からなかった札幌市内7区の震度を発

表した。東区は、札幌市内では観測史上最大となる震度6弱だった。

震度が分からなかったのは、地震による影響で通信が遮断されたため。その後、震度計を設置している札幌市が記録された震度を確認し、判明した。液化化とみられる現象が起きた清田区は震度5強だった。震度6弱は気象庁が定めた10段階の震度のうち3番

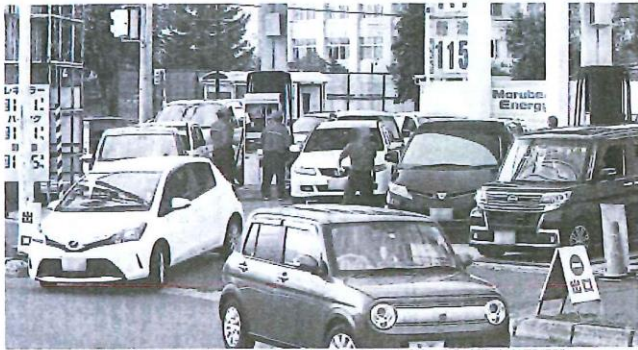
目の強さ。立っていることが困難で、固定していない家具の大半が移動したり、倒れたりする。

他の区の震度は次の通り。

- ▽震度5強 白石区、手稲区
- ▽震度5弱 厚別区、豊平区、西区

# 道民生活 遠い日常

## 「携帯つながらない」 信号機4割点灯せず



緑色を求めドライバーで怒りがこぼれたガソリンスタンド。日午前11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

道庁は道民生活の不便を訴える。信号機が点灯しないまま、車が止まるとドライバーは怒りをこぼす。札幌市西区の大城戸南橋東で、ガソリンスタンドの前で車を待たせられたドライバーが、信号機が点灯しないまま車を止めたまま、怒りをこぼす様子。信号機が点灯しないまま、車が止まるとドライバーは怒りをこぼす。札幌市西区の大城戸南橋東で、ガソリンスタンドの前で車を待たせられたドライバーが、信号機が点灯しないまま車を止めたまま、怒りをこぼす様子。



札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

## 新千歳空港1600人一夜 ごった返すターミナル

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）

札幌市にある新千歳空港。利用客は約1600人。1日午後11時30分、札幌市西区（大城戸南橋東）



# 迫る72時間 搜索急ぐ

## 死者21人 心肺停止6人

### 北海道地震

官庁発表は8日午前の記者会見で、北海道南部の胆振地方を震源とする地震による死者が21人になったと発表した。救助を待つ人の生半気が大層に下がると思われる発生後72時間(丸3日)が迫る中、大規模な土砂崩れが起きた札幌市では、夜通して緊急の捜索が続いた。



政府によると、心肺停止 胆振広域圏によると、8日は6人、行方不明や連絡が取れない人は13人、北海道庁の調べでは、負傷者は401人で、建物の被害は約40棟以上となった。自衛隊は7日から8日にかけて夜を徹して捜索を行い、陸上自衛隊北部方面隊



可能性のある場所では、スコップを手に入れたら土砂を取り除いていた。一月、生活圏は復旧が進み、一時は市内のほぼ全域で発生した停電は同日朝までにほとんどが解消。通信の障害も改善しつつあり、新千歳空港では同日午

前、前日の国内線に就き、

## 停電99%解消

北海道電力は8日、北海道のほぼ全線の約99.5万

## 支援へ予備費 首相表明

安倍首相は8日午前、北海道胆振地方を震源とした地震の発生後、被災地を視察し、被災地支援に予備費を充てることを明らかにした。

## 節電呼びかけ

電力供給の余裕が1%を切った場合、計画停電を事前に周知する。

最大震度	7
死者	21人
心肺停止	6人
行方不明者 (連絡が取れない人を含む)	13人
負傷者	401人
避難	1万1900人
建物被害	75棟以上
停電	約2万戸
断水	22市町

国際線の運航も再開した。一方で、同日午前11時までに被災地では余震とみられ、11日6時過ぎに、気象庁は引き続き注意を呼びかけている。

## 政府は、道内の企業や業界団体などに積極的に節電要請を行っている。

計画停電は地域ごとに時間を区切って行うが、市民生活への影響が大きい。政府は節電の状況を見極め

谷間で土石流に似た現象が起きた厚真町富里地区



【厚真】胆振東部地震直後の6日未明、胆振管内厚真町で発生した大規模な土砂崩れで、谷間の斜面で崩れた土砂が周辺の土砂を巻き込みながら高速で流れ落ち、土石流に似た現象が複数箇所起きていたこと

# 「土石流に似た現象」

## 土砂崩れもろい火山灰地質原因？

専門家分析

が、砂防学会北海道支部の現地調査で分かった。雨で地盤が緩んでいたという土砂崩れで、谷間の斜面で崩れた土砂が周辺の土砂を巻き込みながら高速で流れ落ち、土石流に似た現象が複数箇所起きていたこと

出していた。地震で谷間の表層の土砂が崩れ、谷底に堆積していた不安定な土砂と一緒に麓に流れ込んだとみられる。5日未明の台風21号の接近で厚真町も降雨を記録したが、小山内氏は「それほど土に水分は浸透していなかった」とした上で、「土砂に大量の水が含まれていない点で厳密には土石流と異なるが、谷地形でエネルギーが集中し、距離を流れた点は共通している」と指摘する。

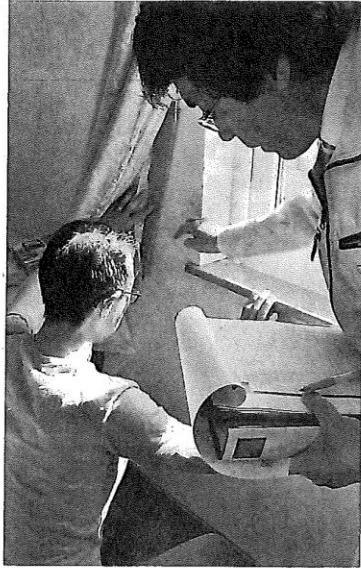
因について、火山灰が降り積もったもろい地質があると推測する。「重い土砂なら谷底との摩擦で遅くなるが、火山灰は軽くて粘着性が弱く、地面との摩擦が少ないため、速度を落とさずとなく麓まで土砂が流れたのではないか」（小山内氏）とみる。

胆振東部地震以降も、最大で震度4の地震が胆振管内を中心に続き、9日は道央にも雨が降る予報だ。小山内氏は「崩れた箇所の周辺は斜面が不安定で、雨や地震で崩壊を起こしやすい。地震活動が続いているうちは斜面に近づかないでほしい」と話す。

同じく現地調査を行った国土交通省国土技術政策総合研究所の野呂智之、土砂災害研究室長も「地震前より少ない雨でも斜面が崩れる恐れがある。早めの避難が大切だ」と警戒を呼び掛けている。

厚真町では複数の家屋が土砂崩れに巻き込まれ、死者・行方不明者は30人以上にのぼる。地震による土砂災害では、2度の震度7を観測した2016年4月の熊本地震でも、南阿蘇村などで大規模な斜面崩壊が発生し10人が犠牲になった。（角田悠馬、吉田隆之）

# 地震影響 管内宿泊施設にも



【日高】町は胆振東部地震で住宅に被害があった人を対象に、罹災証明書発行に必要な家屋調査を行って、18日午後4時現在、罹災証明書の申請は186件と想定以上で近隣町の職員らの応援を受け、急ピッチで作業に当たっている。

# 家屋調査急ピッチ

## 日高町 罹災証明書発行に向け

罹災証明書は義援金や低利の融資を受けるために必要な書類。町は11日に申請書の受け付けを、12日に家屋調査を始めた。震源地に

◆大通商店街組合が被災地へ12万円 【浦河】町大通商店街協同組合(大谷仁



(音藤徹)

罹災証明書の申請は10月5日まで。町総務課情報防災グループの長谷川大樹主任は「他町の協力を得ながら、町民の要望をしっかりと聞き取りたい」と話した。

18日は約20軒を調査。屋内では水漏れや空かない扉がないか家主から聞き取った。

近い西部の住宅に被害が集中し、外観からは分からない屋内の損傷が多いという。15日からは浦河、新冠、様似3町や日高振興局の専門知識をもつ職員6人が応援に入っている。

# 日高

浦河支局  
〒057-0024  
浦河町築地2丁目2-1  
☎0146・22・21  
FAX 22・39

静内支局  
〒056-0017  
新ひだか町静内御幸町6丁目2-1  
☎0146・42・13  
FAX 43・34

北海道新聞 朝刊1面コラム書き写し

卓上四季ノート  
162円(税込)

好評発売中!

お求めはお近くの道新販売所へ

長を務める苫小牧市中央図書館に駆けつけました。館内は本が数十冊、棚から落ちていたくらい。スタンプ27人も無事で、ほっとしました。

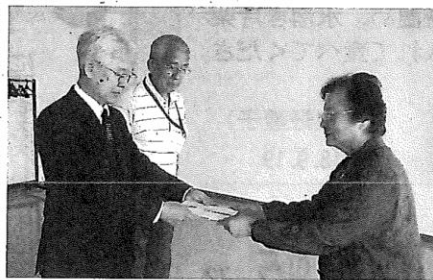
当日は休館しましたが、昼には電気が復旧し、翌日から

希望通信



みみさん(41) =苫小牧  
災地の情報収集のため地図を広げる人も来館者から「図書館だったの」との言葉も、心が温まり地域が大変な時、何も変わらず普

読書



理事長)は、胆振東部地震の被災地支援に役立てて、町共同募金委員会を通じて義援金12万円を送った。

組合は買い物客が加盟店で100円買うごとにスタンプ1枚を渡し、台紙1冊分ためると500円の買い物ができる「ふれあいスタンプ」事業を実施。毎年8月と12月、客が台紙1枚を

分がキャンセルに。笹川幸貴則支配人は「再開を地道にPRし、客足の回復に努

使うごとに50円分を組合として地域に寄付している。今回は組合と組合員からの寄付金を加え被災地に送ることに。大谷理事長と野畑直高スタンプ事業委員長が12日、町社協事務所と委員会の小泉睦子会長に義援金を手渡した。写真真。

優勝馬生産牧場 中興騎馬

◇中山・15日 ①安平・ノーザンファーム②浦河・谷川牧場③ヨウナンガナドル ④安平・ノーザンファーム⑤同⑥日高・白井牧場⑦丸ヶ丘クラブ⑧同⑨下河辺牧場(ハルサカエ)⑩同⑪浜本牧場(サツキワルツ)⑫浦河・エムエム・ヤマダファーム⑬ウユホクト⑭安平・ノーザンファーム⑮浦河・三輪牧場⑯スイショウマト⑰安平・ノーザンファーム⑱新ひだか平野牧場(サイドチェンジ)

◇同・16日 ①新冠・岩見牧場(ケイゴルド)②新ひだか・岡田スタッド(ホウオウカトリス

の事故でトレーラーが国道の一部をふさぎ、現場付近の国道が約8時間、片側交互通行となった。

静内署などによると現場

は片側1車線のトレーラーは苫小草を運ぶ途中で側の、国道から接触していた。た札幌市手稲区は打撲などの軽カブを曲がりたどみて調べて



寄付 新ひだか

### 災害ごみ収集場 不発弾9個発見

【日高】18日午前8時40分ごろ、日高管内日高町富川北の災害ごみの収集場で、町職員が不発弾9個を見つけた。町警に届け出た。出動要請を受けた陸上自衛隊第7師団(千歳)の不発弾処理班が同日午後0時35分までに回収した。

門別署などによると、直径7・6センチ、長さ80センチのライフル弾8個と、直径20センチ、長さ170センチの機関砲弾1個の計9個で、業者が収集作業機を使って金属ごみを収集中、地面に落ちていたところを町職員が見つけた。いずれも信管はなく、爆発の危険性はなかった。

収集場は胆振東部地震の発生後の9〜12日に町が開設。大型ごみや不燃ごみが大量に持ち込まれたため、13日以降は閉じ、町職員らが分別作業を行っていた。

### 国内線ビル1、2階 飲食・物販全店再開

【千歳】胆振東部地震の発生後、一部閉鎖が続いて

いる新千歳空港の商業スペースで、国内線ターミナルビル1、2階の飲食・物販店12店舗が18日、営業を再開した。これにより、国内線ビル1、2階は全100店舗が再開となった。

空港ビルを運営する新千歳空港ターミナルビルディング(千歳)によると、国内線ビル3、4階と国際線ビルなどの物販土産店、娯楽施設、約80店は引き続き休業する。大半は9月末をめ

どに再開するが、温泉施設と空港併設のホテルの復旧は4カ月程度かかる見通し。

国内線ビルでは13日に2階の物販店78店舗中65店舗が営業を再開し、その後準備が整った店舗が順次、営業を始めていた。(高木緑)

### 被害額20億円

【北広島】北広島市の上野正三市長は18日、記者会見し、胆振東部地震による市内の被害額が約20億円に上ることを明らかにした。

今回の地震で、市内では大曲末木地区の地盤が陥没し、住宅が傾くなどの被害が出た。市内全域では建築物で全壊13棟、半壊5棟、一

部損壊57棟の被害があった。このほか、道路の陥没や地割れ、公園斜面の崩落、農地の地割れ、牛乳の廃棄などが確認された。被害額の内訳は住宅被害と宅地陥没など民間関連が約10億円、その他の道路陥没などの被害が約10億円。

市内が候補地となっているプロ野球北海道日本ハムボールパーク(BP)構想について上野市長は「当初の予定通り作業を進めていく」とし、地震の影響はないとした。

(須藤幸恵)

### 地割れで閉鎖の霊園 一部除き墓参可能に

22〜30日

【苫小牧】苫小牧市は、胆振東部地震の影響とみら

れる地割れが見つかり、立ち入り禁止とした市営墓地の高丘霊園(第一霊園)を、秋の彼岸に合わせて22日から30日まで、一部を除いて墓参できるようにする。

市は10日から霊園を閉鎖し、21日までに地割れをブルーシートで覆うなどの仮修復を行う。

約6千区画のうち、崩落の危険がある数区画を除いて墓参できる。午前7時から午後5時まで。22〜24日は近くの苫小牧工業高北側に臨時駐車場を設け、シャトルバスを運行する。

10月以降は再び立ち入り禁止とし、地割れを修復する。問い合わせは市環境生活課 ☎0144・32・6333へ。

(田鍋里志)

### セクハラ疑惑の町長失職

群馬県みなかみ町議会は18日、セクハラ疑惑を巡る町政停滞で不信任決議を受けた前田善成町長(51)の解散に伴う町議選後、初めての議会を開き、不信任決議案を全会一致で再び可決し、前田氏は地方自治法の規定により失職した。前田氏は記者会見を開き、町政運営に支障を来したことを謝罪し、次期町長選に出馬しないと表明した。

この日の議会で前田氏は同日付で辞職する意向を申し出たが、認められなかった。決議案は「セクハラ疑惑で町の信頼が失墜しイメージが傷ついた」と指摘。議会でも、町議選で支援した候補の大敗を辞意の理由に挙げた前田氏に対し「保身を優先させ議事を解散して血税を無駄な選挙に使い、町民への謝罪もない」と批判が相次いだ。

### 両陛下あす広島、愛媛へ

宮内庁は18日、天皇、皇后両陛下が20日に広島、愛媛両県を日帰りで見舞うと正式に発表した。20日は愛媛県だけの予定だったが、13日に組まれていた広島県訪問が悪天候のため延期になり、予備日の14日にもかなわなかったため、愛媛訪問に併せて実施することになった。

### ダム放水問題で説明会

西日本豪雨で愛媛県の肱川(ひじかわ)にある鹿野川ダム(大洲市)が大量放流し大規模な浸水被害が出た問題で、大洲市とダムを管理する国土交通省四国地方整備局などが18日、市内で住民説明会を開いた。

会場の小学校体育館には住民ら約260人が集まり、冒頭で犠牲者を悼み黙とうした。四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所の小長井彰祐所長は「情報共有、周知の在り方にさまざまな意見があることは承知している。誠心誠意説明したい」と話した。

質疑応答で、国交省は操作規則に従ったと強調。出席した男性は「想定を超えたときにマニュアル通りやっていたら、どうなるか分るはずだ」と語気を強めた。「人災だ」との声も多く上がった。市の対応を追及する声に対し、二宮隆久

### 避難所入浴施設で 81歳女性心肺停止

【厚真】18日午後2時55

分ごろ、胆振管内厚真町京町の厚真町総合福祉センターの避難所に設けられた入浴施設で「浴槽に女性が浮いており、意識と呼吸がない」と、自衛隊員から119番があった。胆振東部消防組合によると、町内の女性(81)で、心肺停止の状態

で苫小牧市内の病院に搬送された。

同組合によると、女性は同センターに自衛隊が設けた避難者向けの入浴施設に同日午後2時50分ごろ入浴したという。道によると、胆振東部地震の被災者が避難所で心肺停止状態となったのは初めて。

### あおり運転後に暴行 無職の男に有罪判決

【函館地裁

【函館】あおり運転に絡む事故後、相手の男性ドライバーに暴行してけがを負わせたとして、傷害の罪に問われた北斗市、無職七戸紀行被告(36)の判決公判が18日、函館地裁であった。橋本健裁判官は懲役1年6カ月、執行猶予3年(求刑懲役1年6カ月)を言い渡した。

判決によると、七戸被告は今年6月7日、片側2車線の道路を車で走行中、前方で並走していた男性の車と別の車を追い越そうとあおり運転をした。その後、男性の車の前に出て急ブレーキをかけて追突事故を起こした上、男性を車から引

### 張り出し、顔を 折るなどの重

た。橋本裁判官

の被害者を激怒のは極めて悪質。函館中央署は

が急ブレーキの車に追突させ、傷を負わせた。転倒傷と道交法不申告の容疑を検したが、函館

訴処分とした。

【深川】18日ごろ、深川市意道で、オートバイの50代と、忠和り、会社員(51)のトラック、トバイの50代とが頭などを強く

# 避難所 支援に格差

## 日高町 少ない炊き出し 寒さ耐え

胆振東部地震の発生から10日がたった16日もなお、約1,200人が過す市町24カ所の避難所で、支援内容に格差が生じている。最も避難者が多い胆振管内厚真町では民間などの炊き出しがある一方、道内最大規模の断水が続き日高管内日高町や小規模な避難所は炊き出しがほとんどなく、「支援物資がない」との声もある。行政も二丁スの把握に苦慮している。

(加藤祐輔、金子文太郎、角田悠寛)

### 「こちらにも目を向けて」



段ボールベッドがない日高町の避難所＝16日(中川明紀撮影)

「もう少しくちくちく目を向けてほしい思いはある。日高町の避難所に6日から避難する女性(73)が過慮がちに話した。

日高町は地震による死者はいなかったが、16日午後3時現在、自治体別で最多の3000戸で断水が続く。町は自衛隊の炊き出しを受けておらず、厚真町内のように、民間の炊き出しでなんとか賄われつつある。厚真町の炊き出しは、毎日のように提供されている。女性は一食がパンのみ、中が煮込み、1食がパンのみ。寒い中、温かい炊き出しが欲しいと漏らす。

## 東区の退避所 避難者計上せず

### 「私たちも被災者なのに」

札幌市は、胆振東部地震の避難者を受け入れていた東区体育館を14日午後1時、避難所から撤退し、退避所に変更した。同体育館に身を寄せる33人を避難者数に計上するのをやめた。高齢者や支援の必要がある人が多いとみられるが「私



から配られたどもたち

## 「ミニ学習会」に笑顔 厚真 休校中 教員ら奮闘

【厚真】胆振東部地震で震度7を記録した胆振管内厚真町で、小中学校全校の休校が続く中、教職員が避難所を出回る「ミニ学習会」を開いたり、ボランティアが放課後の子どもたちを

町教育委員会の嘱託職員斎藤義典(50)は、合資制交流サイト(SNS)で道内各地からボランティアを集め、8日～17日まで、同センターの空室を利用して

ある。日高の被害はまだ忘れられたようだ。ただ、日高町民が声高に支援を求めることも少ない。町議会の西尾英後議長(71)は「困ったら申し出て、町民に声を掛けてもらうが、他町の状況を考えれば」と避難所の雰囲気がある」という。

日高町の担当者は「あらゆる町と取りたいと話す。断水が続き自宅暮らしをする。トイレは車で8分かけて避難所まで通つた。隣のむか町はボランティアも多く、活気が

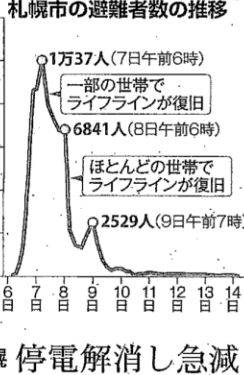
避難所では、民間の炊き出しも少なく、入浴支援は車や送迎バスで15～30分かけて別の避難所を受ける。夫(65)が認知症という主婦(61)は地震後、要介護者の入浴支援があった14日までは夫をお風呂に入れられなかった。「ぜいたくを言えれば、風呂にも入浴支援に来てほしい」

厚真町の担当者は「できるだけ支援が住民にいきわたる運用をしたい」と述べた。

避難所はのほのか、札幌市、北広島市、胆振管内むか町、同管内安平町が設けている。

した市内の避難所は道庁の1カ所、避難者は7人となっている。東区体育館に避難する女性(17)は「救済の目的で物置を立てた。計上されたのは14日午後5時以降、市が16日発表

## 避難者ピーク時1万人



6日未明に発生した胆振東部地震で最大震度6弱の揺れに見舞われた札幌市では、停電の続いた6日夜、市内で約1万人が避難所入りした。市内の9日前午7時の避難者は約2万5千人に上った。

7日は停電が解消し始めたことで帰宅者が増え、同日午後1時の避難者は6万7,799人。電気や水道、地下鉄などがほぼ復旧した8日は、午後7時の時点で130,000人となった。

一方、日中といった減った避難者が、夜に増える傾向もみられた。市内の9日前午7時の避難者は約2万5千人に上った。

市内の避難所は道庁の1カ所、避難者は7人となっている。東区体育館に避難する女性(17)は「救済の目的で物置を立てた。計上されたのは14日午後5時以降、市が16日発表

市内の避難所は道庁の1カ所、避難者は7人となっている。東区体育館に避難する女性(17)は「救済の目的で物置を立てた。計上されたのは14日午後5時以降、市が16日発表

24時間受付・年中無休

あひプラングループ年間葬儀件数 道内 7,000 件以上

0120-600-300

※2017年4月～2018年3月実績。

AHCC. イムノメディックピュア

北海道が認めた「ヘルシーDo限定商品」です

植物性油脂の配合量を減らしています

ホームヘルプ

介護士

0120-1234

味のり

OKみ

広告についてのご意見・ご相談は JAROへ。

JEICA

認定

0120-1234

# 避難生活 ペットに悩む

【安平、厚真、むかわ】胆振東部地震で多くの人が避難生活を送るなか、飼育するペットについて悩む人たちがいる。避難所への同行を認めるところもあるが、ペット禁止で車中泊したり、自宅に残したりするケースも多い。家屋の倒壊で逃げ出したペットもあり、家族同然に暮らすペットの扱いに苦慮している。

(山田一輝、千葉佳奈、後藤真)

## 避難所で気疲れ 家屋倒壊で脱走 やむなく車中泊



早来町民センターで、ペットと一緒に廊下で過ごす後藤久仁子さん

### 被災地での接し方 獣医師に聞く

胆振東部地震の影響で体調を崩しやすい理由は、調を崩すペットが相次いでいる。被災地でペットをどのように世話すべきか。厚



玉井聡さん

「生活環境が大きく変わり、生活リズムが狂うため」

「犬であれば、いつもの時間に散歩させるなど可能

安平町は、避難所へのペット同行を認めてはいないが、「人道的に、家族から引き離すことはできない」(町総務課)として黙認。ただ、感染症の恐れもあるため、ペット同行者は他の避難者から離れた場所でごすよう求めている。

小型犬を飼う町内の主婦後藤久仁子さん(58)は、早来町民センターの廊下に毛布を敷いて過ごす。苦情はないが、犬の鳴き声が迷惑をかけるからと避難所を離れた人もいるといい、後藤さんは「気を使うので、早く帰りたい」とこぼす。

町内の飲食店経営菅原裕美さん(47)の家には、猫を飼う母(79)が避難しているが、菅原さんの家族に猫アレルギーがあり、猫は母の家に残している。菅原さんは「災害住宅に入居希望だが、猫と暮らせる物件があるか」と心配する。

厚真町とむかわ町は、避難所へのペット同行は禁

止。自宅に残したり、一緒に車中泊する人も多く、犬と車で過ごす50代の女性は「体の節々が痛い」が、ペットは大事な家族」と話す。

一方、むかわ町の自営業小泉裕美さん(44)が飼っていた猫3匹のうち、2匹は倒壊した自宅から逃げ出した。町内では、民間災害時動物救済本部(東京)が捕獲器を設置し、迷子ペットを捜索している。

### 11匹に応急処置

健康相談会

【厚真】胆振東部地震で体調を崩したペットを対象にした健康相談会が13日、町錦町の「ペットホテルHAYA」で開かれた。札幌の獣医師が町内の犬や猫を診察し、簡単な応急処置を施した。

北海道獣医師会や道、札幌市などつくる「ペット救護対策協議会」が、地震の影響で飼い主が動物病院に連れて行けなくなったペッ

「行動が制限される避難所では、どのようにペットと接すればよいですか。」

「犬であれば、いつもの時間に散歩させるなど可能

「高齢の犬は腎臓の働きが弱まっているため、老廃

飼い主(左)から相談を受け、犬に治療をする獣医師(ペット救護対策協議会提供)



トを対象に実施。町内在住の飼い主11人が食欲不振や爪の出血などの症状が見られる犬7匹、猫4匹を連れて

第4日は14日の2回戦2を奪い、鶴川(て訪れ、獣医師り薬などで治療に整腸剤や下剤処方した。健康相談会は3時にも実施で無料。

## 安平で全戸被害 罹災証明書発行

罹災証明書発行



【安平】町は14日、胆振東部地震を受け、物置などを含めた町内のすべての家屋の被害調査を始めた。屋根や壁、土台といった

秋の高校

苦工、室

町はこの調

を発行する。

全部を脱げた  
の救護室で  
間、捻挫な  
が応じた  
日婦人が



▲日かた  
救護活動に当  
院長(右)

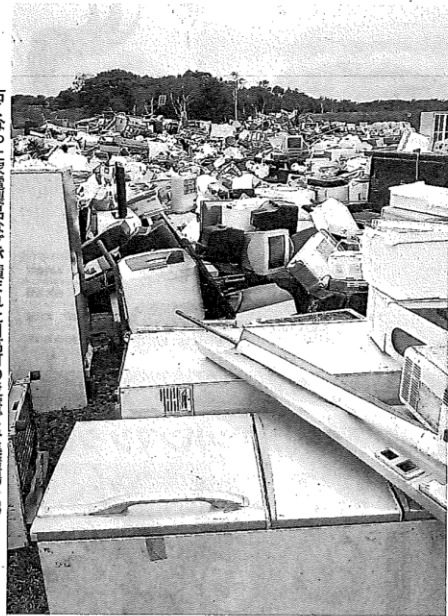
【日高】胆振東部地震で壊れた家具など家庭で出た「災害み」を受け入れる町の集積場に、大量のゴミが持ち込まれ、職員が対応に追われている。中には今回の地震と関係ないと思われるブラウン管テレビや古いソファなども含まれ、町は「地震で被害を受けたもの以外は持ち込まないで」と呼び掛けている。(宮藤健)

# 町困惑「ルール守って」

最大震度6弱を記録した日高町は6日朝、町内10カ所で災害みを受け入れ、職員が対応に追われている。中には今回の地震と関係ないと思われるブラウン管テレビや古いソファなども含まれ、町は「地震で被害を受けたもの以外は持ち込まないで」と呼び掛けている。

最大震度6弱を記録した日高町は6日朝、町内10カ所で災害みを受け入れ、職員が対応に追われている。中には今回の地震と関係ないと思われるブラウン管テレビや古いソファなども含まれ、町は「地震で被害を受けたもの以外は持ち込まないで」と呼び掛けている。

# 日高町集積場に大量3000ト



古くなった家電製品などが積み上げられた日高町の災害み集積場。13日

厚、むかむか胆振東部地震で多くの人が避難生活を送るなか、飼について悩む人たちがいる。避難所への同行を認めるどころもあ7禁止で車中泊したり、自宅に残したりするケースも多い。家屋の口したベントもおり、家族同様に暮らすベットの扱いに苦慮して

(山田)輝 千葉佳奈 後藤真

安平町は、避難所へのベツト同行を認めてはいないが、「人道的に、家族から引き離すとはできない」と(町総務課)として黙認。ただ、感染症の恐れもあるため、ベツト同行者は他の避難者から離れた場所でのみ使用を求めている。



飼い主(左)から相談を受け、犬に治療をする獣医師(ベツト救護対策協議会提供)

秋の高校野球予選 国岡支部  
第4日は14日、Bブロックの2回戦。行っだ。苦戦は一回、5点を奪い、二回、自らの自滅で

切つて勝利から登壇した。15日決勝の試合。○高岡支店、▽国岡支店、▲栄工、●七

集積場を川川東防災広場1カ所に集約した。日高振興局によろごみ処理は13日午後7時時点で約3千トに達した。

町住民課によろ、町民



安平町の早来町民センターで、かき氷を振る舞う空知管内商工会青年部連合会メンバー(右)

【安平、厚真、むかむか】空知管内商工会青年部連合会は14日、胆振東部地震で被害を受けた安平、厚真、むかむかの3町で炊き出し

4町に水  
日高振興  
東部地震に  
交付税の一  
ける日高管  
を発表した  
800万円  
億5400  
1億490  
総務省は  
面の資金繰  
う、要望の  
町に、11月  
を今月18日

ケアに当たる看護士ら2人を  
含む8人がむかわ町で活  
動した。第3班は23日から  
被災地入りする予定。

(細川智子)

各地で秋の例大祭が予定さ  
れていたが、復旧が間に合  
わず、開催を断念する神社  
もある。

【「エンデューロ」実施  
沙流川まつりは中止  
【日高、平取】国内外の  
一流ライダーやファンらが  
大勢集まる恒例のオフロード  
大会「日高ツデー」は15、  
16の両日、日高町日高地区  
で開かれる。胆振東部地震  
で開催が危ぶまれたが、町  
民有志や自衛隊などの協力  
もあって開催が可能となっ  
た。一方、平取町特産のひ  
ろりと和牛を堪能する  
秋恒例の催し「びろりと沙  
流川まつり」は中止

流川まつり  
を取りやめ  
エンデュー  
トごとの計  
などに当り  
高町は当初  
職員約20人  
に加える予  
震関連の対  
ごににしか  
今回で30  
定だった平  
沙流川まつ  
翌日の7、  
た。

状況だと魚  
りたい」と  
民センターを訪れ、フライ  
ドポテトやシンキスカン、  
かき氷や菓子類など各20  
0人分を振る舞った。

この日の東胆振地方は各  
地で25度を超える夏日とな  
り、かき氷は子どもたちに  
喜ばれた。早来小6年の丸  
本「瑚君は「今日は暑いから  
冷たいものはうれし」と  
笑顔を見せていた。

炊き出しのほか、メンバー  
が北竜町で当地戦隊ヒー  
ロー「アクリフアンター・  
ノースドラゴン」の衣装を  
着て子どもたちと交流し  
た。同連合会の三原淳平理  
事(37)「北竜町商工会青年  
部」は「断水が続く大変な